

原岡棧橋トイレ改修工事

設計図

令和8年9月

発注者 南房総市

設計者 間宮建築設計事務所

図面リスト

図面番号	名 称	縮 尺
01	図面リスト-1	NOT
	建 築 工 事	
A-01	建築改修工事特記仕様書-1	NOT
A-02	建築改修工事特記仕様書-2	NOT
A-03	建築改修工事特記仕様書-3	NOT
A-04	建築改修工事特記仕様書-4	NOT
A-05	建築改修工事特記仕様書-5	NOT
A-06	建築改修工事特記仕様書-6	NOT
A-07	建築改修工事特記仕様書-7	NOT
A-08	建築改修工事特記仕様書-8	NOT
A-09	案内図	1/5000
A-10	配置図、敷地面積求積図	1/200
A-11	建築面積求積図、床面積求積図	1/200
A-12	仕上表	NOT
A-13	1 階平面詳細図	1/60
A-14	立面図-1	1/100
A-15	立面図-2、凡例一覧表	1/100
A-16	矩計図、各部詳細図	1/30, 1/50
A-17	基礎伏図	1/60
A-18	1 階床伏図	1/60
A-19	展開図-1	1/50
A-20	展開図-2	1/50
A-21	展開図-3	1/50
A-22	建具表	1/50
A-23	外構既存・撤去図	1/200
A-24	足場計画平面詳細図	1/60
A-25	足場計画立面図	1/100
A-26	仮設計画図	1/500

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

8環境配慮設備修工事

○3PCB含有シーリング材の処理

○4外断熱改修工事

○5断熱・防露改修工事

○6屋上緑化改修工事

○石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
除去対象範囲
着工前の試験施工
除去工法
養生方法
石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形（下地調整材）の除去
（1）剥離剤を使用する工法では、ジクロロメタン等の有害性の高い化学物質を使用しない。
剥離剤使用量
（2）水を使って除去する工事の場合には、未処理の廃水が流出・地下浸透しないようすべて回収しなければならない。回収した廃水は、凝集沈殿後に上澄み水をろ過処理する等により、適切に処理した上で放流すること。
除去した石綿含有仕上塗材の処分
石綿含有建材除去後の仕上げ工事

○7透水性
アスファルト
舗装改修工事

適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用
路床
路床の材料
○盛土
○凍上抑制層
○フィルター層
（凍結抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
○行う
○路床安定処理
安定処理の方法
路床安定処理添加材料
種類
添加量
安定処理工法に関する試験
安定処理のCBR試験（配合試験含む）
安定処理のCBR試験、配合試験は「舗装調査・試験法便覧」（安定処理土のCBR試験方法（JGS 0811準拠））、「舗装施工便覧」（5-1-4（1））による六価クロム溶出試験
六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認すること。
試験
路床土の支持力比（CBR）試験（資料採取方法
現場CBR試験
路床締固め度の試験
○不織布（ジオテキスタイル）
単位面積質量
厚さ（mm）
引張強さ
透水係数
路盤
路盤の厚さ
路盤材料（改修標準仕様書表9.5.3による種類）
クラッシュラン
再生粒度調整砕石
粒度調整鉄鋼スラグ
舗装の構成
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
舗装の平たん性

●1土工

○2コンクリートブロック工事

○3ガラスクリーニング

○4既存建具金物調整

○5コンクリート二次製品

○6上ガス対策

●1共通事項

○2建設発生土

○3路盤廃材

●4建設廃棄物等

○破損及び滅失金物は、交換又は取付、その他の金物は調整する。
調整建具箇所
○木製建具
○千葉県型コンクリート二次製品はエコセメント使用品を原則とし、これによりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。
○なし
○あり
○施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

1)「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。
また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。
◎作成対象工事
「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」は並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。
2)「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に生じた処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提示し確認を受けること。
3)建設副産物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のD票及びE票を提示すること。
また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの（受渡確認票等）を提示すること。
土砂等に係る条例を遵守し、また、「建設発生土管理基準」及び「建設副産物に係る処理基準及び再生資材の利用基準」に従い適正に処理を行うこと。
なお、この基準は次のものに適用する。
○埋立て或いは、工事間利用等をする建設発生土の管理
○公共工事以外から搬入される土砂等の管理
（1）指定（A）（工事間利用）の場合
発生する建設発生土のうち、下記に示す発生土については、工事間利用を図り指定地に搬出するものとする。
ア 搬出先（相手先工事名、工事場所等）
市町地先
イ 土質及び処分量
ウ 搬出時期
（2）指定（A）（その他）の場合
建設発生土は、市町地先に搬出するものとする。
（3）指定（B）の場合
建設発生土は、片道運搬距離kmに搬出するものとする。

	数 量	搬出先	片道運搬距離	処分方法	備 考
○路盤廃材	t	都市町地先	km	○中間処理場 ○最終処分場	

	数 量	搬出先	片道運搬距離	処分方法	備 考
●コンクリート塊（無筋）	0.23 t	南房総市荒川地先	18 km	○中間処理場 ○最終処分場	
○コンクリート塊（有筋）	t	都市町地先	km	○中間処理場 ○最終処分場	
○アスファルト塊	t	都市町地先	km	○中間処理場 ○最終処分場	
●その他がれき類	0.13m3	南房総市荒川地先	18 km	○中間処理場 ○最終処分場	
○廃プラスチック	m3	都市町地先	km	○中間処理場 ○最終処分場	
●金属くず	4.14m3	南房総市荒川町地先	18 km	○中間処理場 ○最終処分場	
○その他くず類	m3	都市町地先	km	○中間処理場 ○最終処分場	
○廃石膏ボード	m3	都市町地先	km	○中間処理場 ○最終処分場	
○混合廃棄物	m3	都市町地先	km	○中間処理場 ○最終処分場	
○建設汚泥	m3	都市町地先	km	○中間処理場 ○最終処分場	
○カッター汚泥	m3	都市町地先	km	○中間処理場 ○最終処分場	
●木くず	1.11m3	南房総市荒川町地先	18 km	○中間処理場 ○最終処分場	
○		都市町地先	km	○中間処理場 ○最終処分場	
○		都市町地先	km	○中間処理場 ○最終処分場	
○		都市町地先	km	○中間処理場 ○最終処分場	
○スクラップ控除	t		km	○有価物処理	

上記 2建設発生土 3路盤廃材 4建設廃棄物等の数量については積算のための参考数量とし、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。
工事発注後、事情により上記の指定処理により難い場合は、監督職員に報告するものとする。
その他特記事項
①発注者に引渡しを要するもの（
②特別管理産業廃棄物
○無 ○有 品目名（
③現場において再利用を図るもの（

別記2

工事区分表

工事内容		施工区分			
		建築	電気	機械	
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け	○	○	○
		鉄筋補強	○	○	○
		スリープ、型枠（補強筋無し）	○	○	○
		スリープ、型枠（補強筋有り）	○	○	○
基礎	軽量鉄骨地下天井、壁ボード類に設ける開口	埋戻し、穴埋め（補強筋無し）	○	○	○
		埋戻し、穴埋め（補強筋有り）	○	○	○
		開口補強	○	○	○
		切込み（開口補強有り）	○	○	○
基礎	屋内 配電盤、制御盤、キュービクル、受水槽、タンク類等	切込み（開口補強無し）	○	○	○
		躯体と一体のもの	○	○	○
		上記以外のもの	○	○	○
		躯体と一体のもの	○	○	○
基礎	屋上 テレビアンテナ、避雷針、高架水槽、クーリングタワー消火水槽等	上記以外のもの	○	○	○
		鉄筋コンクリート製	○	○	○
		タンク類等	○	○	○
		無筋コンクリート製、その他	○	○	○
点検口	架台、アンカーボルト		○	○	○
		床、壁、天井	●	○	○
		配管ビット、トレンチビット	○	○	○
			○	○	○
配管配線	機器付属の制御盤（接地とも）	一次側	○	○	○
		二次側	○	○	○
		熱感知器から運動制御盤を経て防火ダンパーに至る配線配管	○	○	○
		防火シャッターから熱感知器に至る配管	○	○	○
	防火シャッターから熱感知器に至る配線		○	○	○
		換気扇取付パネル	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
			○	○	○

仮設足場（参考）

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行うこと。

間宮建築設計事務所 間宮 幸男 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 T E L 0470-47-5520 F A X 0470-47-5540

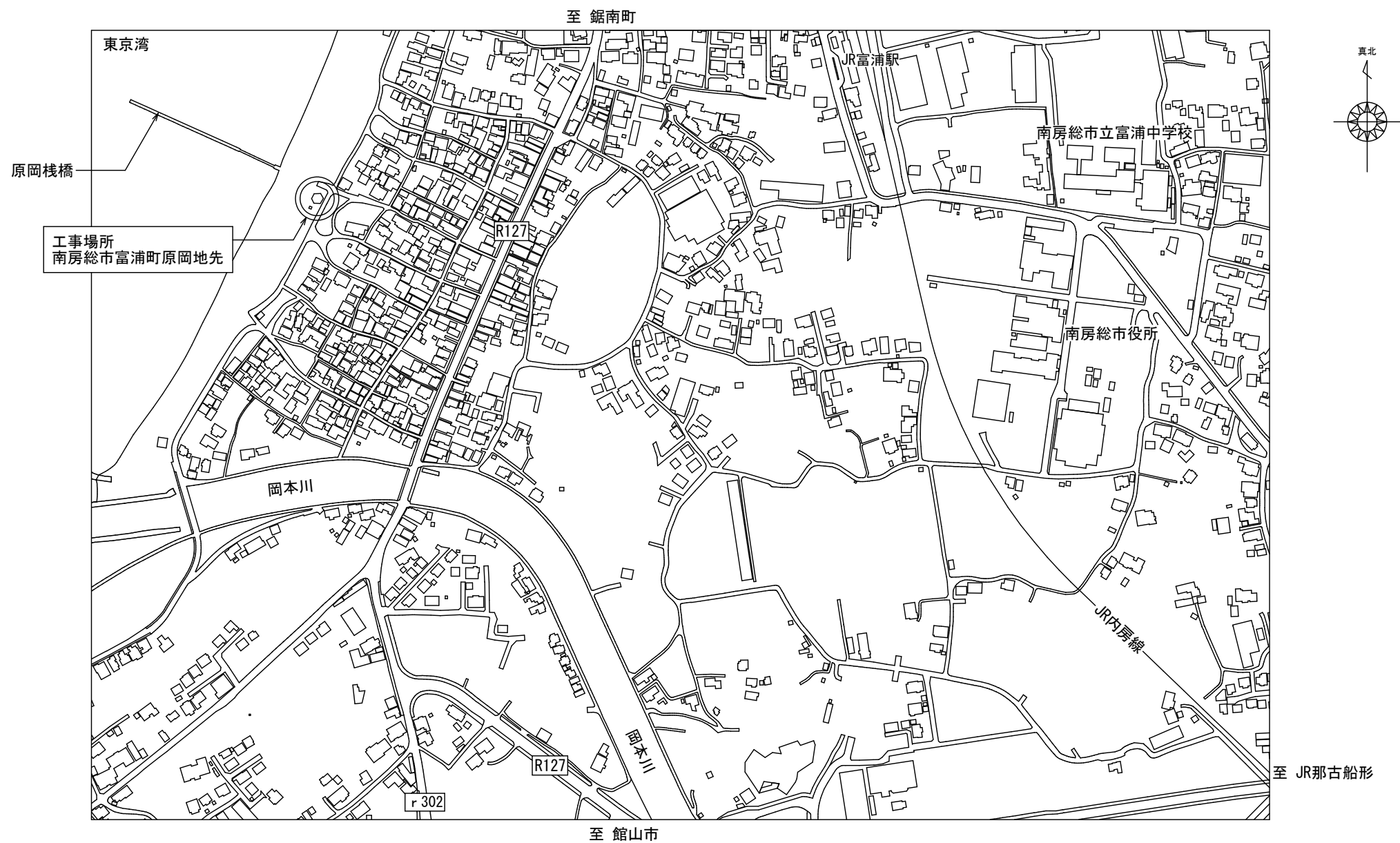
千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号 一級建築士 大臣登録 第208415号

工事名 原岡桧橋トイレ改修工事 製 年 月 日 R8. 8. 25

国 名 建築改修工事特記仕様書（8） R7. 12

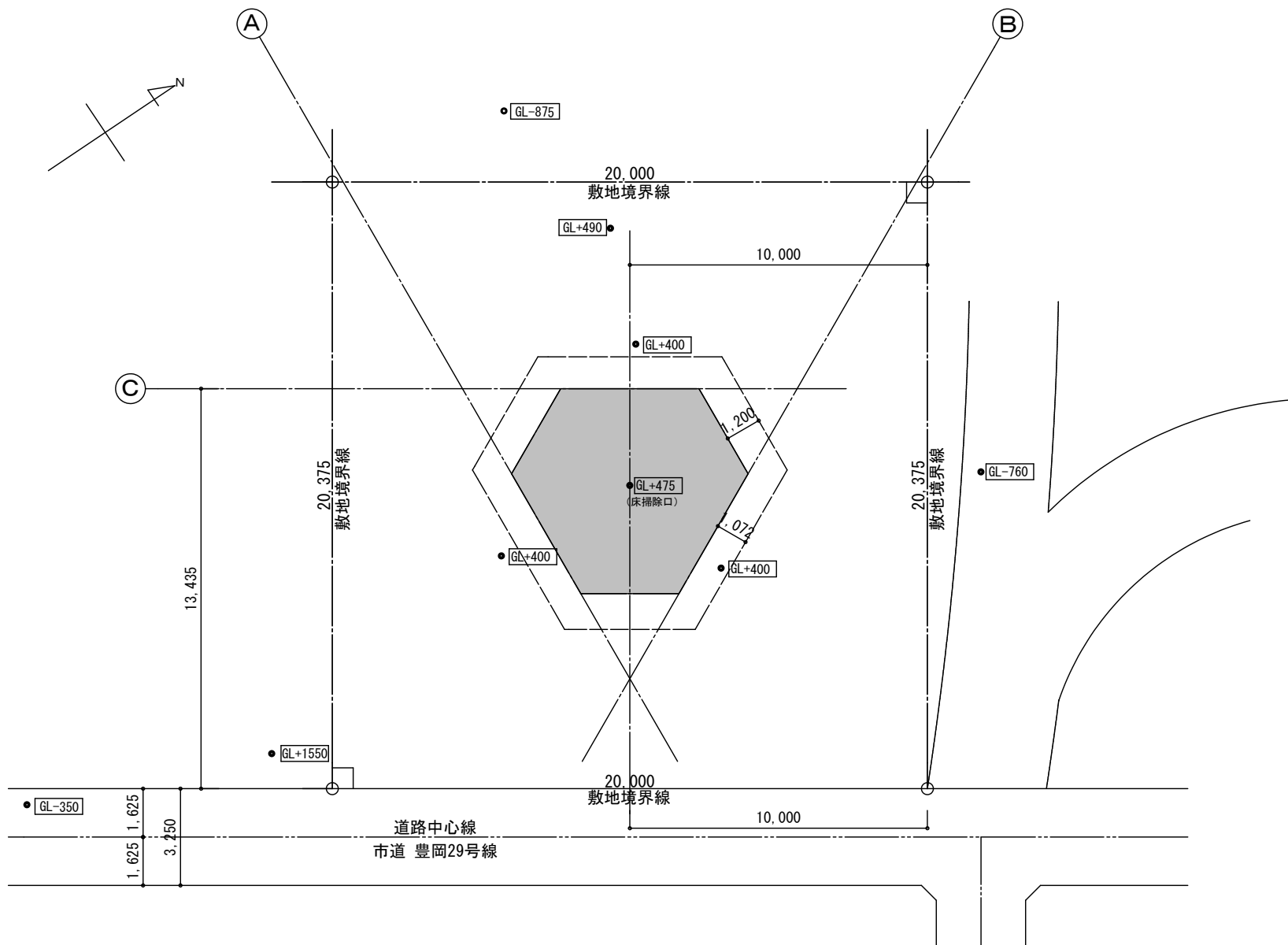
製 国 間宮

A08 千葉県

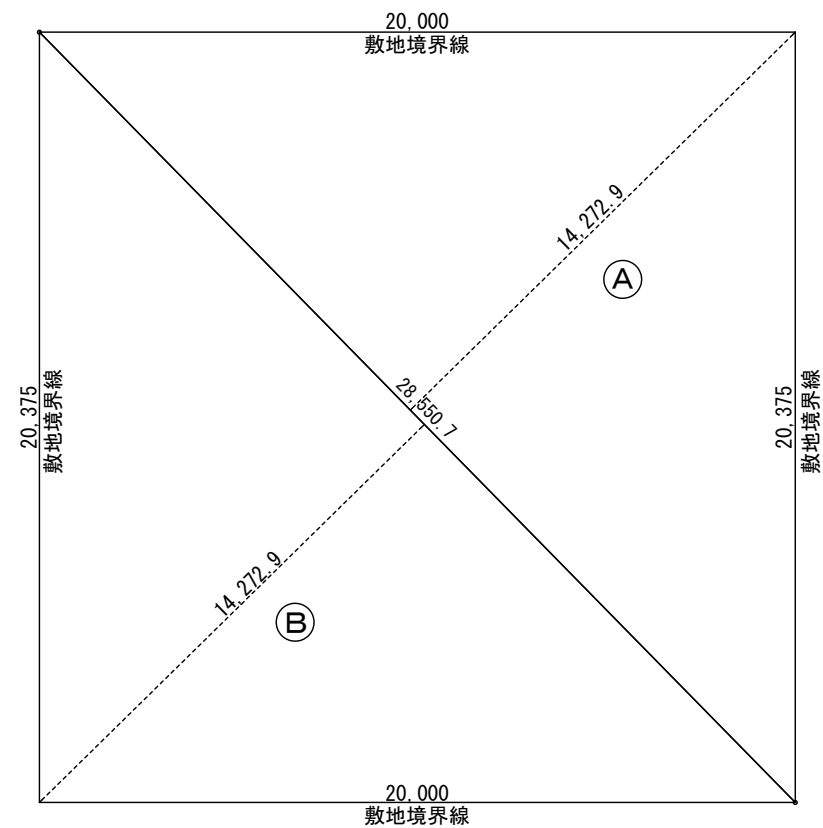


案内図 S=1/5000

工事名	原岡棧橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名		案内図 A-09	図面NO A-09
備考				間宮	間宮		縮尺			

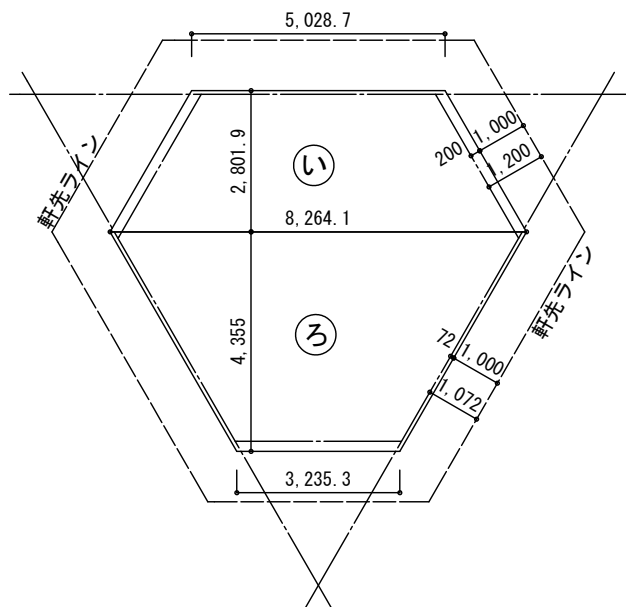


配置図 S=1/200



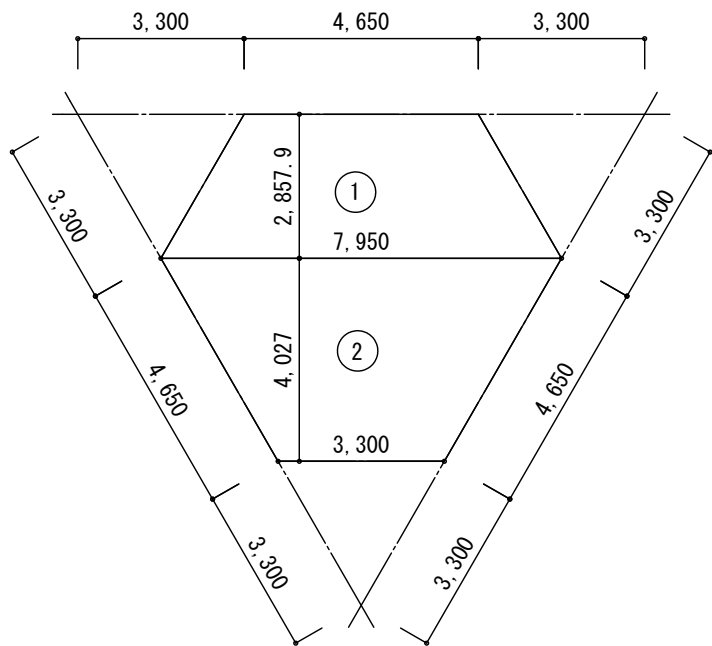
敷地面積	A	...	$28.5507 \times 14.2729 \div 2 = 203.75$	
	B	...	$28.5507 \times 14.2729 \div 2 = 203.75$	
	A + B	...	$203.75 + 203.75 = 407.5$	407.5 (㎡)

敷地面積求積図 S=1/200



建築面積	①	・・・	$(5.0287+8.2641) \times 2.8019 \div 2 = 18.62$	
	②	・・・	$(3.2353+8.2641) \times 4.3550 \div 2 = 25.04$	
	①+②	・・・	$18.62 + 25.04 = 43.66$	43.66 (㎡)

建築面積求積図 S=1/150



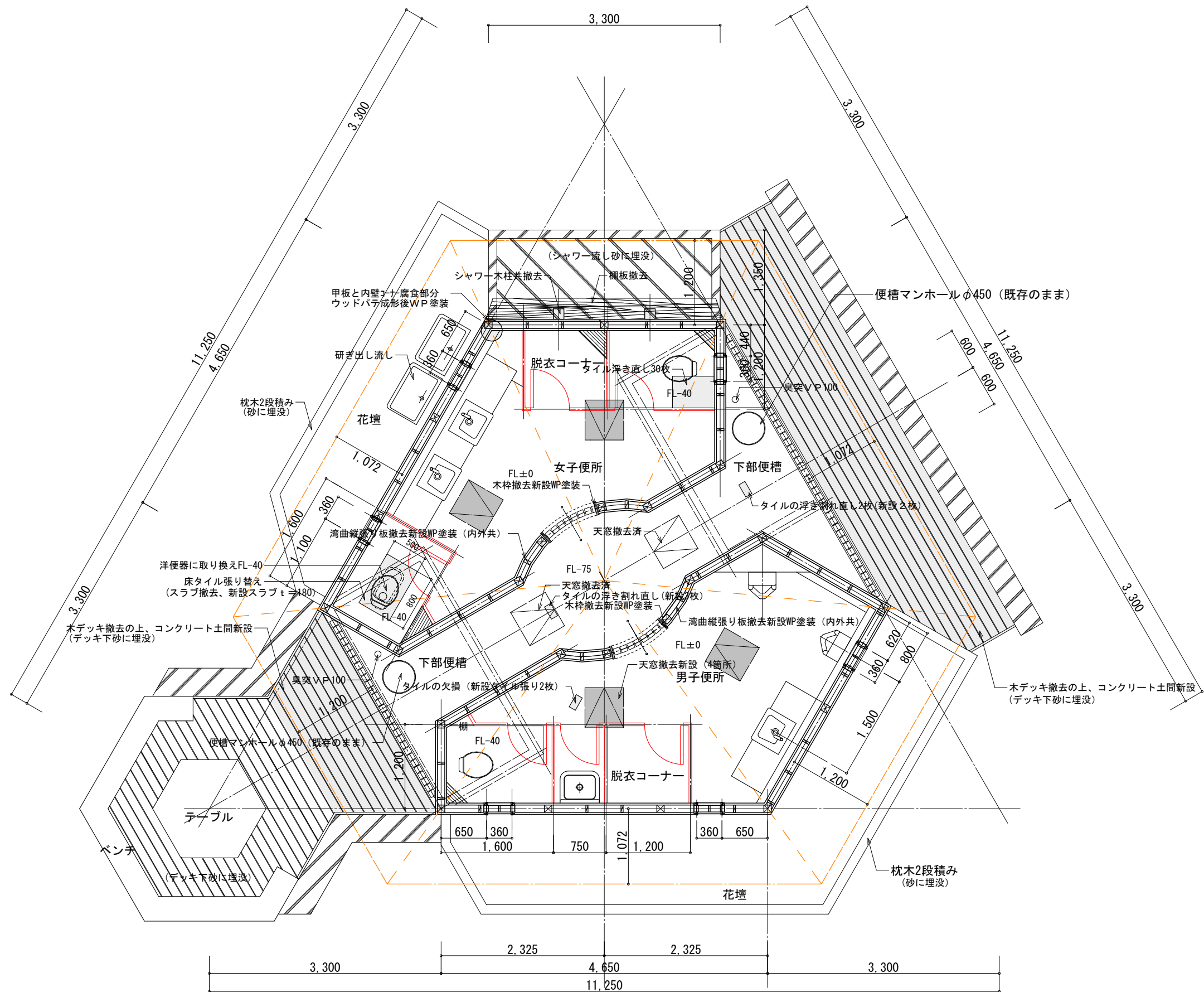
延床面積	①	・・・	$(4.6500+7.9500) \times 2.8579 \div 2 = 18.00$	
	②	・・・	$(3.3000+8.2641) \times 4.027 \div 2 = 22.65$	
	①+②	・・・	$18.00 + 22.65 = 40.65$	40.65 (㎡)

床面積求積図 S=1/150

外 部 仕 上 げ 表					
屋根	既存	ガルバリウム鋼板 t＝0.4瓦葺き（心木有り） 一部平葺き （撤去）	トッブライト	既存	木製 外部アルミ（W500×H700） 6箇所（2ヶ所撤去済み）透明合わせガラス
		化粧野地板12×120相しゃくり張り、アスファルトルーフィング22kg（ルーフィング迄撤去）			（日本ベルックス（株）3000-101）
	改修	ガルバリウム鋼板 t＝0.4瓦葺き（心木なし） 一部平葺き（新設）		改修	木製 外部アルミ（W500×H700） 4箇所 透明合わせガラス 日本ベルックス(株)FS C01（フィックスアイブ）
		化粧野地板一部腐朽部取り換えの上、アスファルトルーフィング940			
軒裏	既存	化粧野地板杉12×120相しゃくり目透かし張り	デッキ	既存	杉板18×120 目透かし張り 目地幅9m/m C C A 処理材、テーブル、イス
	改修	化粧野地板一部腐朽部取り換え		改修	木デッキ 一部撤去後、溶接金網 6.0φ×100×100入り コンクリート打ち放し刷毛引き仕上げ土間 テーブル、イス WP 塗装
破風板、鼻隠し	既存	杉（24×120） WP S 塗装	シャワーコーナー	既存	木柱埋設シャワー及び棚
	改修	杉（24×120）腐朽部分取り換えの上、WP 塗装改修		改修	木柱埋設シャワー撤去後化粧板24×120張り、及び棚撤去
外壁	既存	杉板12×120 相しゃくり目透かし張り WP S 塗装	便槽蓋	既存	防臭蓋φ450
		杉板12×120 相しゃくり目透かし張り WP S 塗装			
	改修	縦見切り撤去新設、杉板12×120下部2枚撤去の上、水切板金交換、新規杉板復旧の上、 全体WP 塗装改修		改修	既存のまま

内 部 仕 上 げ 表					
男子トイレ床、巾木	既存	100角せっき質タイル張り	通路床	既存	100角せっき質タイル張り
	改修	せっき質タイル張り浮き部、欠損部補修、水洗い清掃		改修	せっき質タイル張り浮き部、欠損部補修、水洗い清掃
男子トイレ壁	既存	腰壁：H＝900、小便器前1,200まで100角陶器質タイル張り	通路壁	既存	壁：杉板（12×120）相しゃくり目透かし張り WP S 塗装
		壁：杉板（12×120）相しゃくり目透かし張り WP S 塗装			
	改修	腰壁：100角陶器質タイル水洗い清掃 壁：杉板（12×120）相しゃくり目透かし張り 高圧ポンプによる水洗い・清掃の上、腐食部取り換え、 全体WP 塗装		改修	壁：杉板（12×120）相しゃくり目透かし張り 高圧ポンプによる水洗い・清掃の上、腐食部取り換え 縦見切り撤去新設、杉板12×120下部2枚撤去の上、水切板金交換、新規杉板復旧の上、 全体WP 塗装改修
女子トイレ床、巾木	既存	100角せっき質タイル張り		既存	
	改修	既存タイル張り浮き部補修、今回便器取り換え部分100角タイル張り、水洗い清掃		改修	
女子トイレ壁	既存	腰壁：H＝900まで100角陶器質タイル張り		既存	
		壁：杉板（12×120）相しゃくり目透かし張り WP S 塗装			
	改修	腰壁：100角陶器質タイル水洗い清掃 壁：杉板（12×120）相しゃくり目透かし張り 高圧ポンプによる水洗い・清掃の上、腐食部取り換え、 全体WP 塗装		改修	

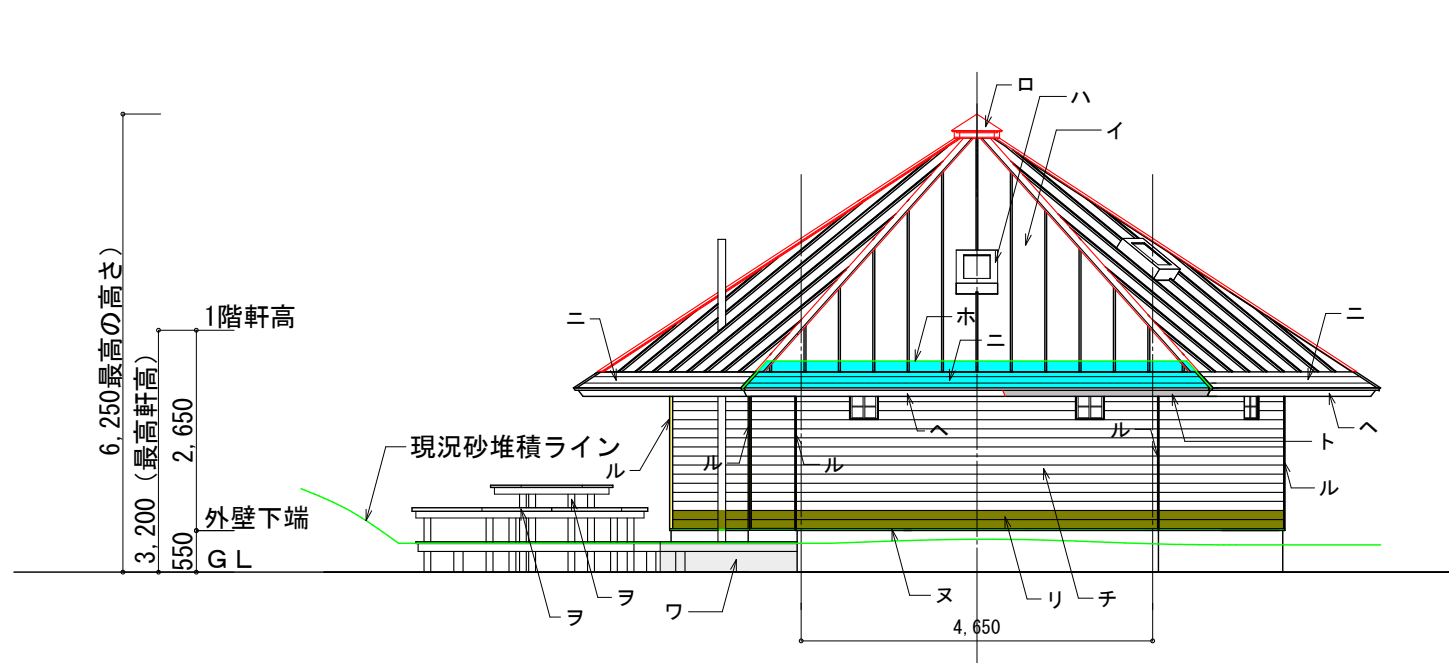
工事名	原岡 棧橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名		仕上表 A-12	図面NO A-12
	備考				間宮	間宮				



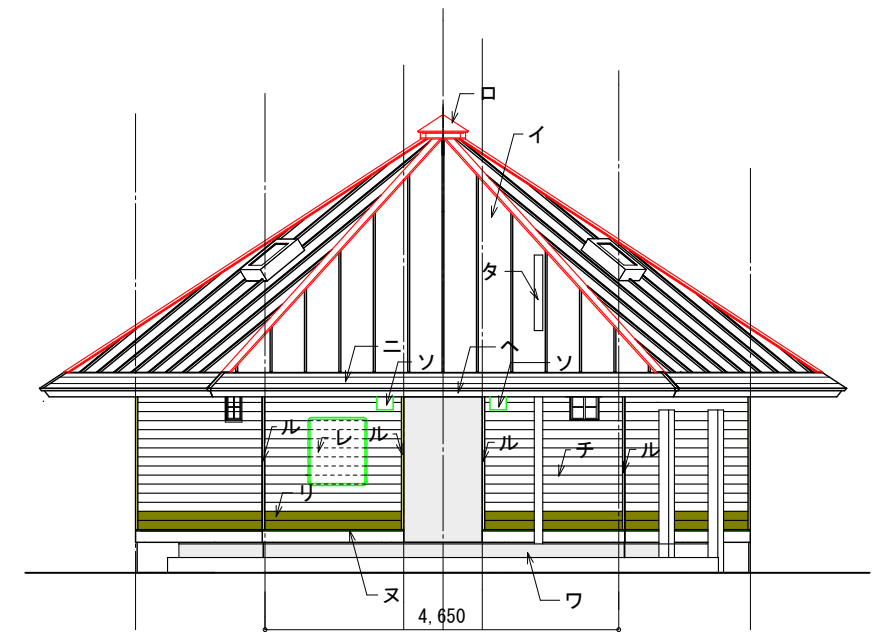
1 階平面詳細図

S=1/60

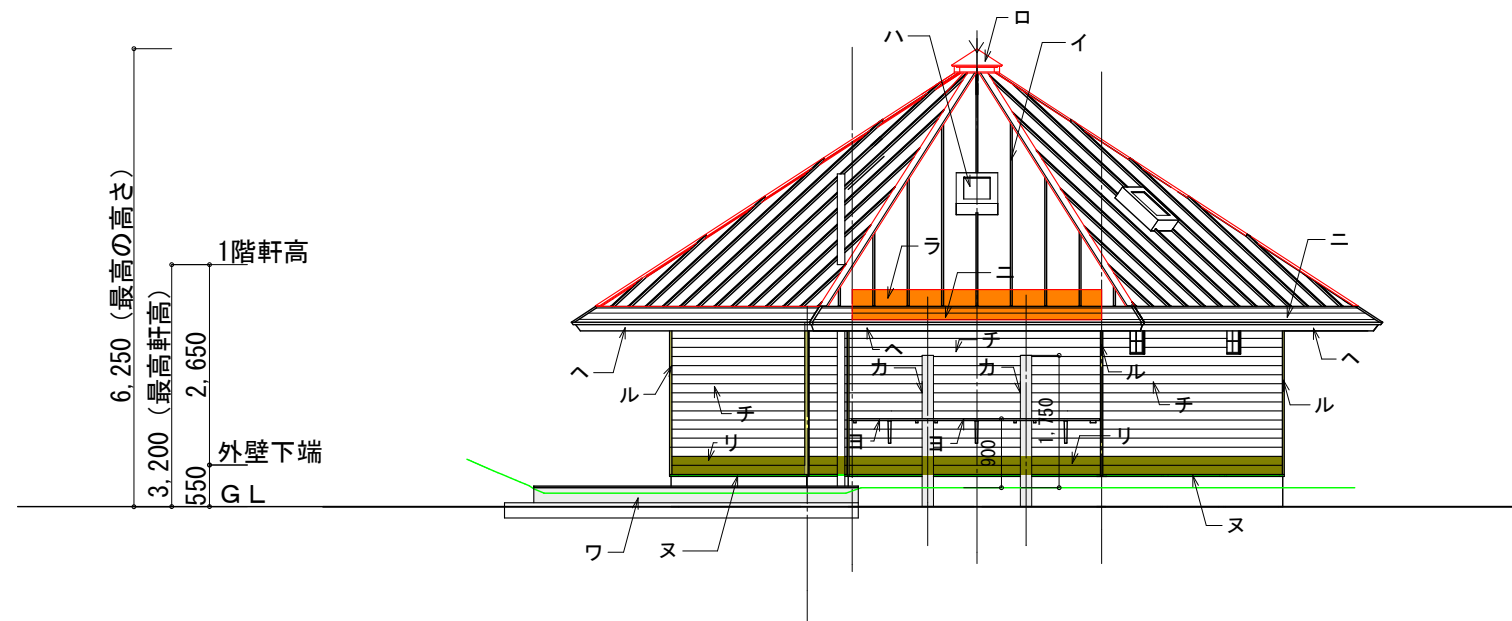
工事名 原岡棧橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者 間宮	設計者 間宮	担当者	図面名 1 階 平面詳細図	図面NO A-13
備考				R8.8.18		縮尺 S=1/60	



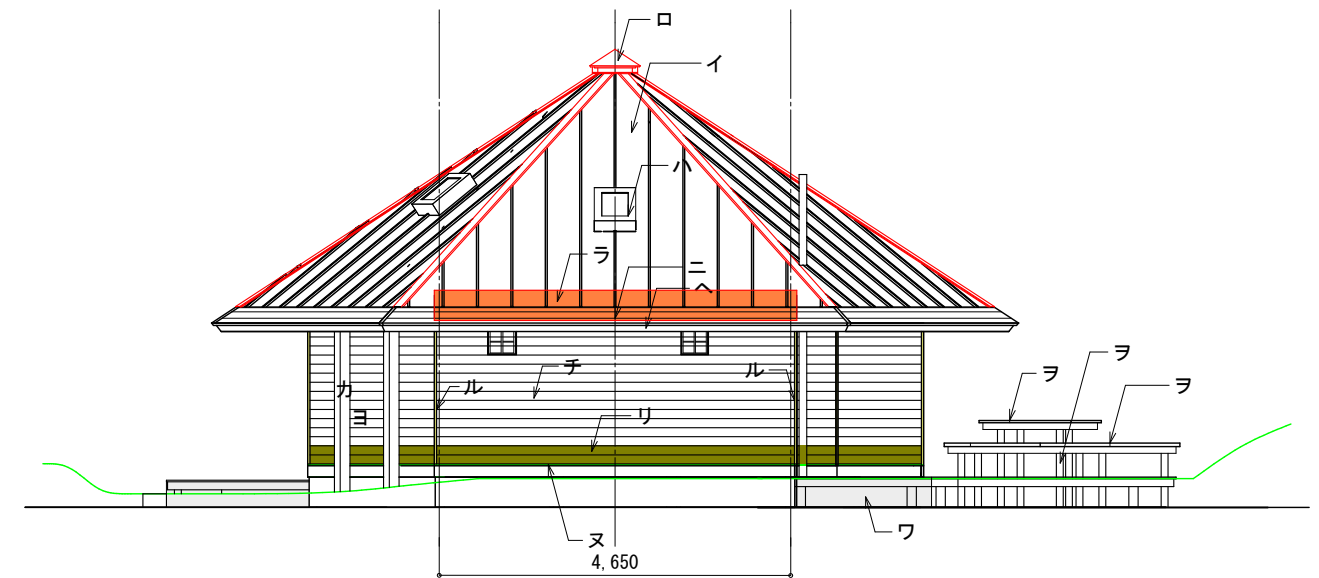
南側立面図 S=1/100



北東側立面図 S=1/100

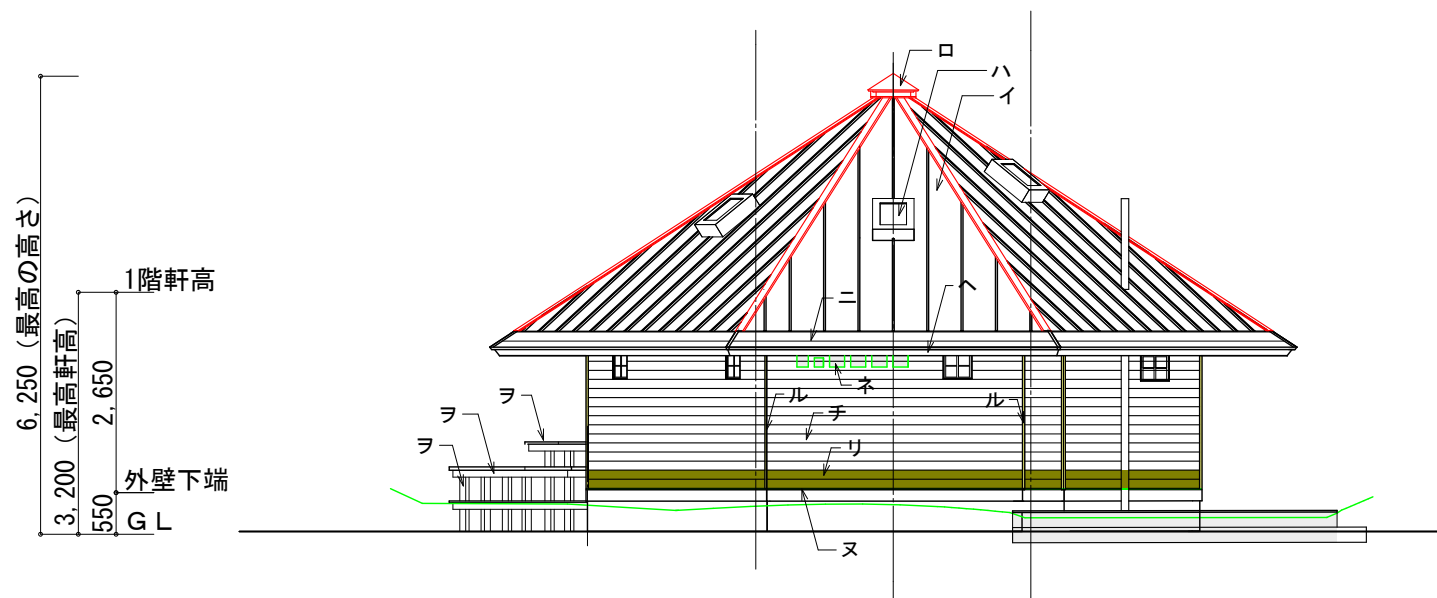


北側立面図 S=1/100

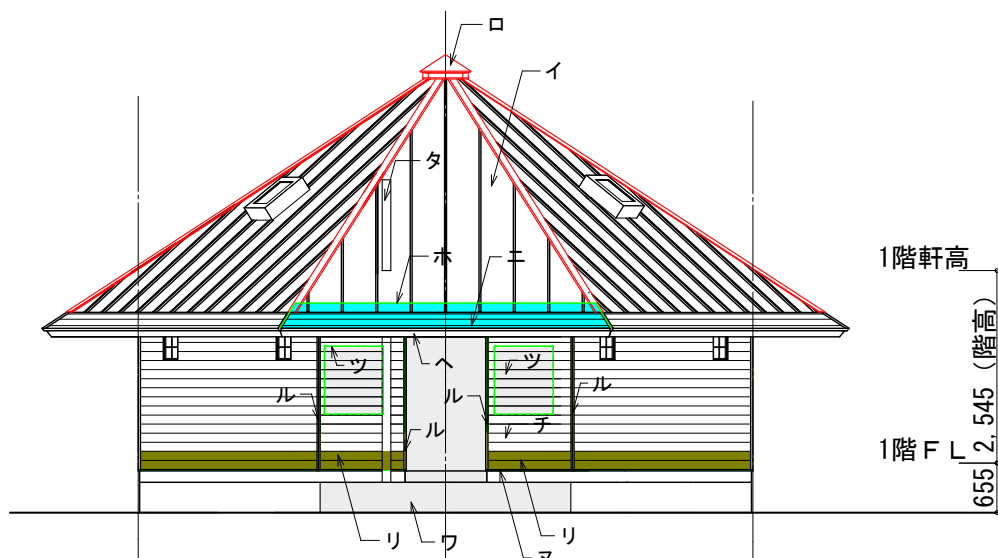


北西側立面図 S=1/100

工事名 原岡栈橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号 FAX 0470-47-5540		一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男		管理者 間宮 設計者 間宮 担当者 図面名		立面図-1 縮尺 S=1/100		図面NO A-14
---------------------------------------	---	--	---	--	---	--	---	--	---------------------------------



南東側立面図 S=1/100



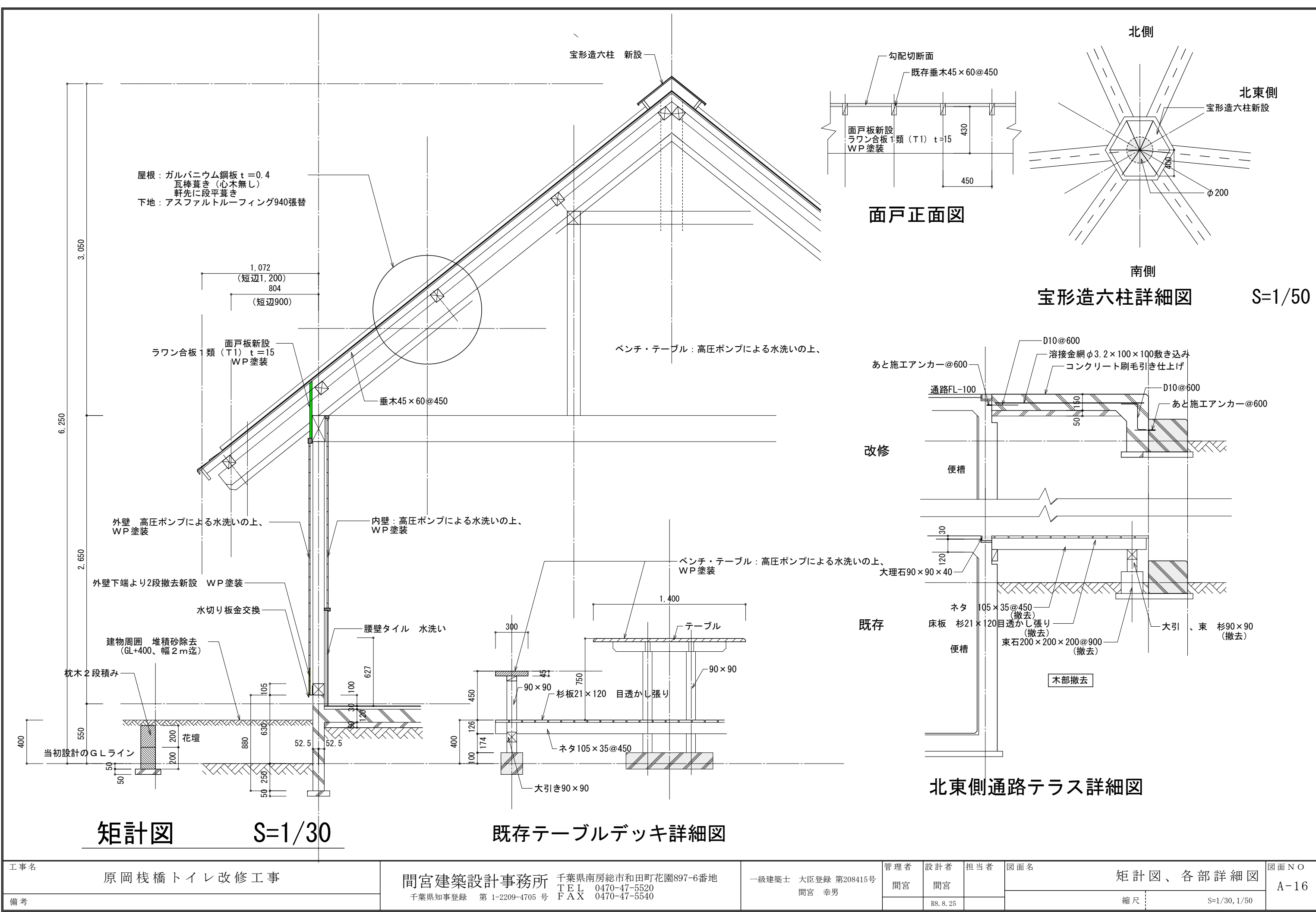
南西側立面図 S=1/100

凡例 (外部改修)

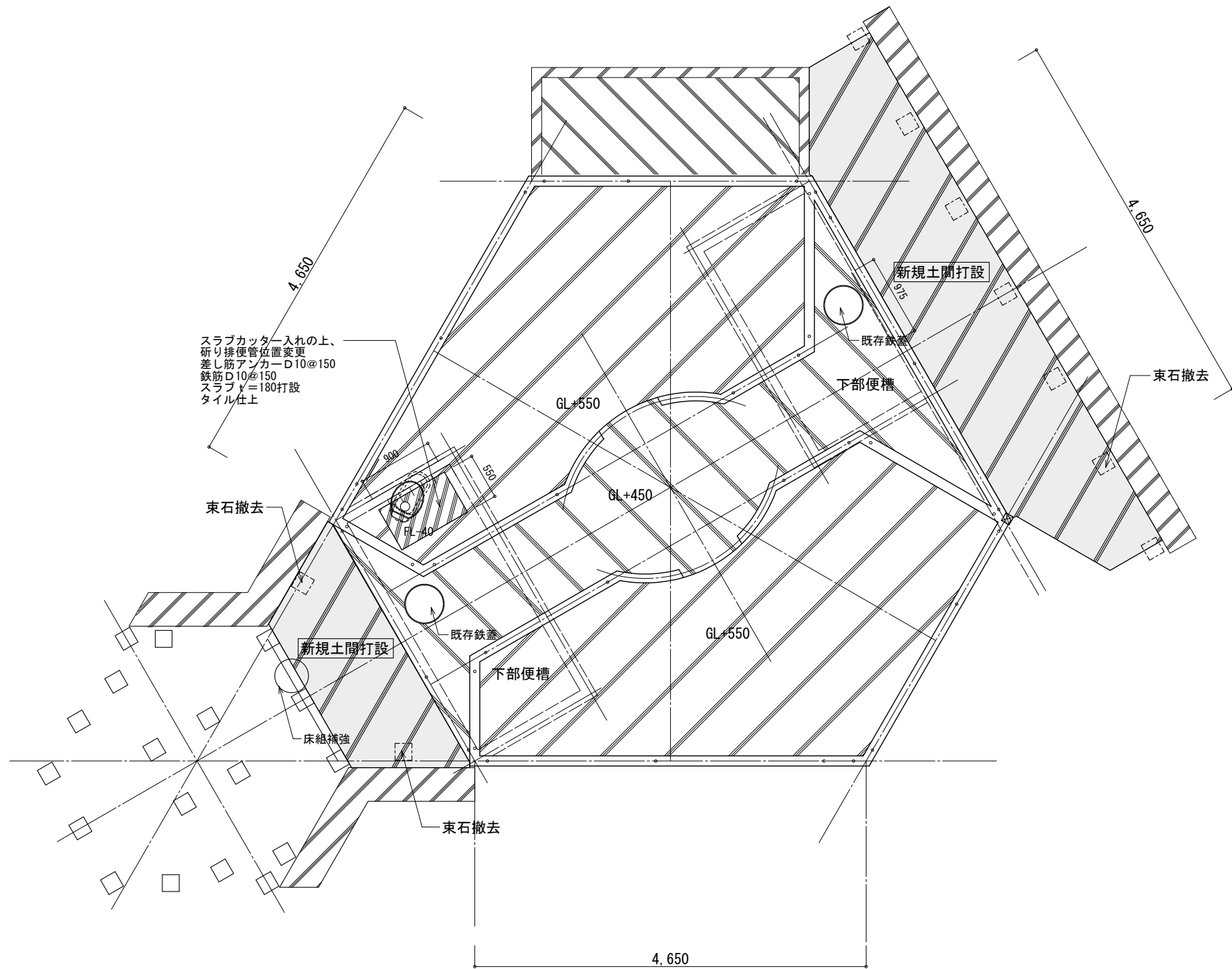
イ	屋根：ガルバリウム鋼板 t=0.4 瓦棒心木無し葺き (アスファルトルーフィング迄改修)
ロ	屋根：ガルバリウム鋼板 t=0.4 宝形造六注 新設
ハ	トップライト撤去、新設
ニ	屋根：先端2段ガルバリウム鋼板 t=0.4平葺き葺き替え
ホ	野地板先端より600巾野地板取り換え
ヘ	破風・鼻隠し板 杉24×120 WP塗装
ト	破風・鼻隠し板 杉24×120取り換え WP塗装
チ	外壁 高圧ポンプによる水洗いの上、WP塗装
リ	外壁下端杉板2段取外し、水切板金改修去の上、杉板12×120相しゃくり目透かし2枚新設、WP塗装
ヌ	外壁下端水切り板金撤去の上、ガルバニウム鋼板 t=0.4水切板金新設
ル	外壁縦コーナー縁撤去の上、新設 WP塗装
ヲ	テーブル、イス WP塗装
ワ	床木デッキ撤去、コンクリート土間に変更 (床組束とも撤去、堆積砂敷地内移動処理)
カ	シャワー柱撤去、化粧板24×120取付 WP塗装
ヨ	シャワー棚撤去
タ	臭突φ100VP、臭突ファン新設 (機械設備工事)
レ	既存アルミ掲示板取り外し、外壁塗装後、清掃後再取り付け
ソ	既存200×200平付き木板サイン取り外し、外壁塗装後、新設平付き木板サイン200×200取付
ツ	既存絵看板撤去、ステンレスボルト残しの上、VPキャップシリコン詰めかぶせ
ネ	文字板撤去
ラ	風除け面戸板取り付け WP塗装

凡例 (内部改修)

ム	内壁 高圧ポンプによる水洗いの上、WP塗装
ウ	腰壁 水洗い清掃
キ	洗面カウンター甲板コーナー、腐食部分、ウッドパテ成形後 WP塗装
ノ	木巾木：杉30×15取り換え WP塗装
オ	木三方枠取り換え WP塗装
ク	木製建具高圧ポンプによる水洗いの上、WP塗装 全6枚裏表共
ヤ	テラゾートイレブース 高圧ポンプによる水洗い
マ	かがみ撤去再取り付け (取付金具新設) 全3枚
ケ	内壁アール部分：杉板12×120相しゃくり縦張り撤去新設 WP塗装
フ	巾木アール部分：杉板15×30撤去新設 WP塗装
コ	内壁下端杉板2段取外し、水切板金改修去の上、杉板12×120相しゃくり目透かし2枚新設、WP塗装
エ	内壁下端水切り板金撤去の上、ガルバニウム鋼板 t=0.4水切板金新設
テ	内壁縦コーナー縁撤去の上、新設 WP塗装
ア	既存200×200平付き木板サイン取り外し、外壁塗装後、新設平付き木板サイン200×200取付

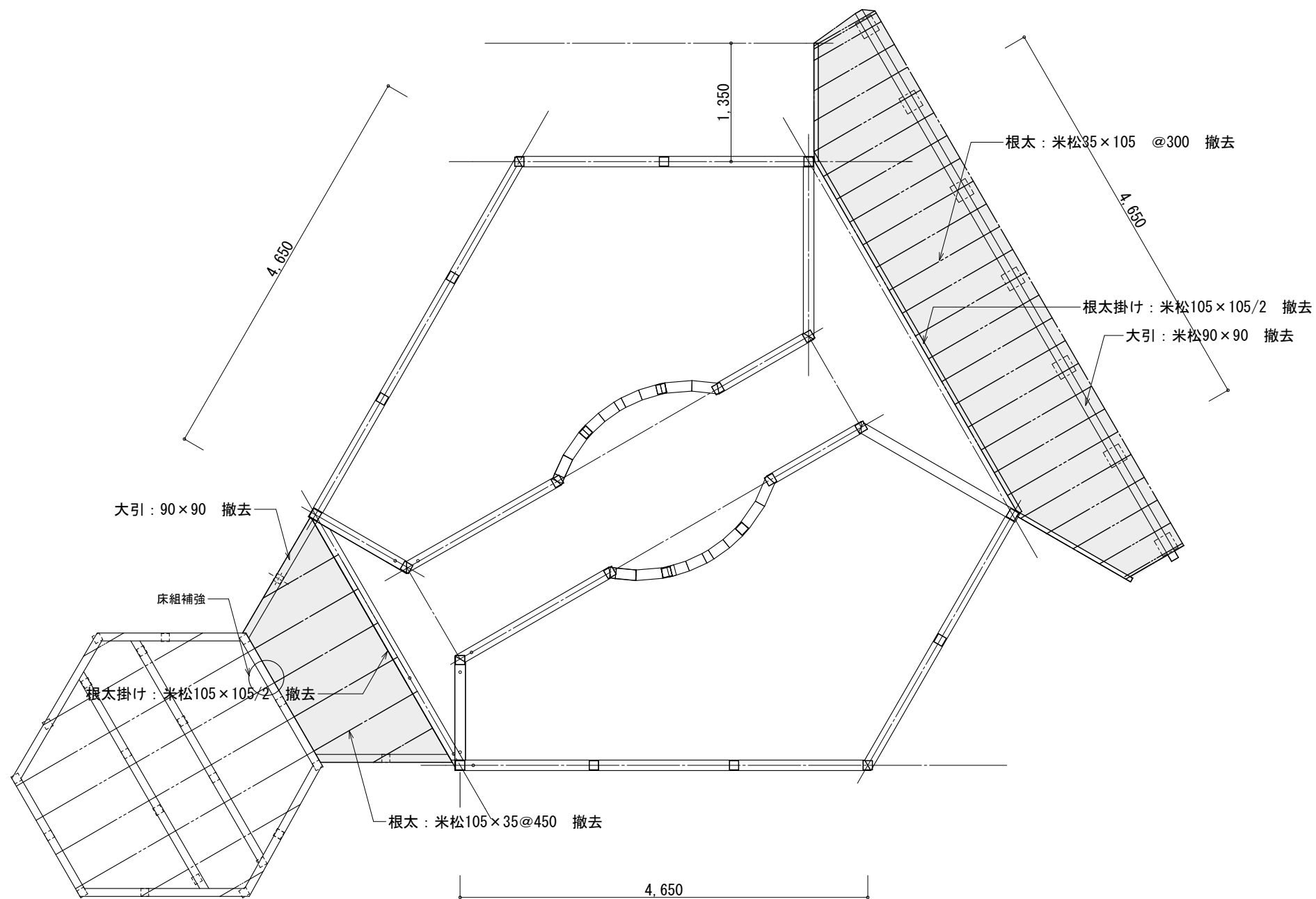


工事名		間宮建築設計事務所		千葉県南房総市和田町花園897-6番地 T E L 0470-47-5520 F A X 0470-47-5540		一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男		管理者 間宮	設計者 間宮	担当者	図面名 矩計図、各部詳細図		図面NO A-16
備考		千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号							R8.8.25		縮尺	S=1/30, 1/50	



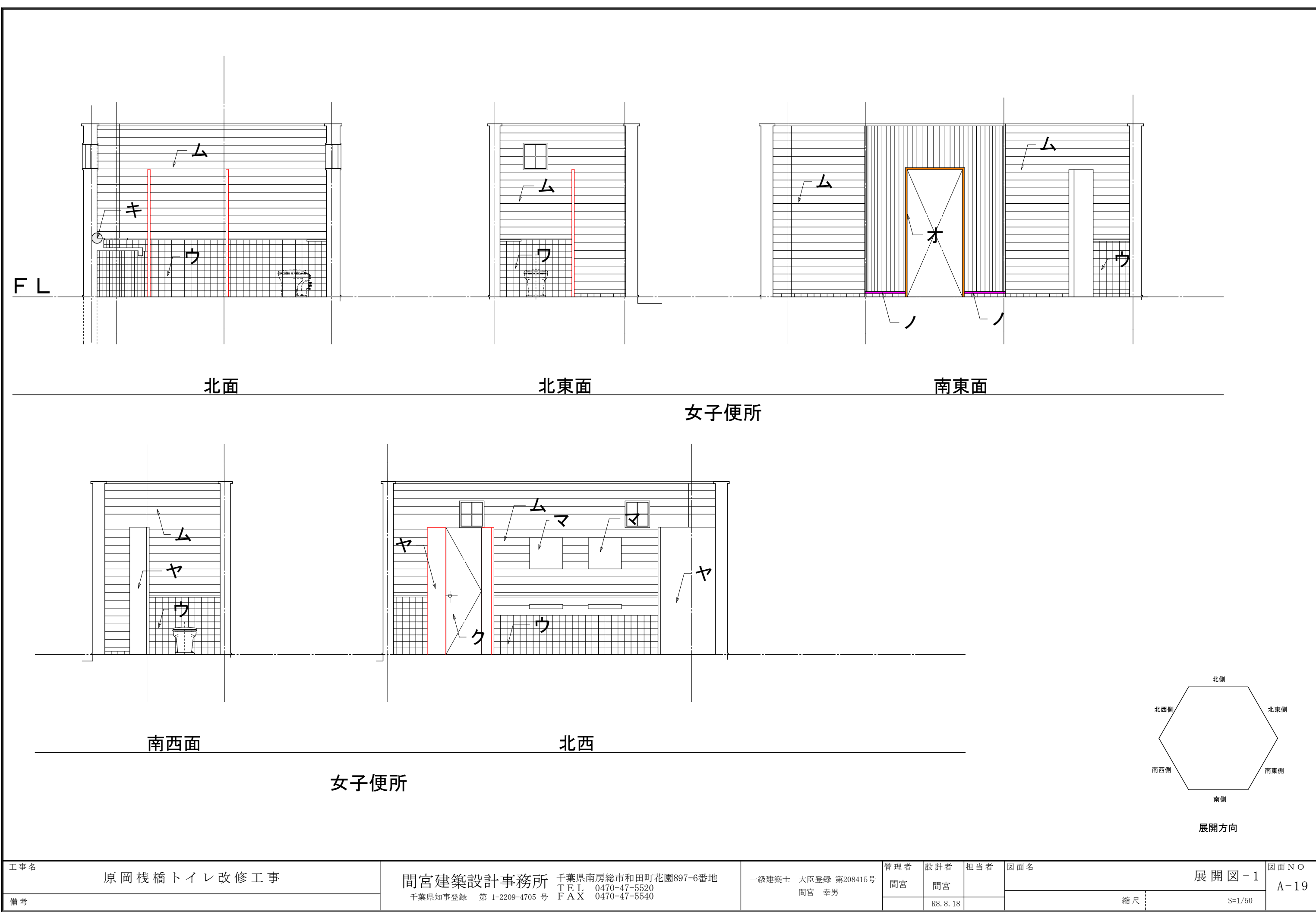
基礎伏図 S=1/60

工事名	原岡栈橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名		図面NO
	間宮			間宮		基礎伏図			
備考					R8.8.20		縮尺	S=1/60	A-17

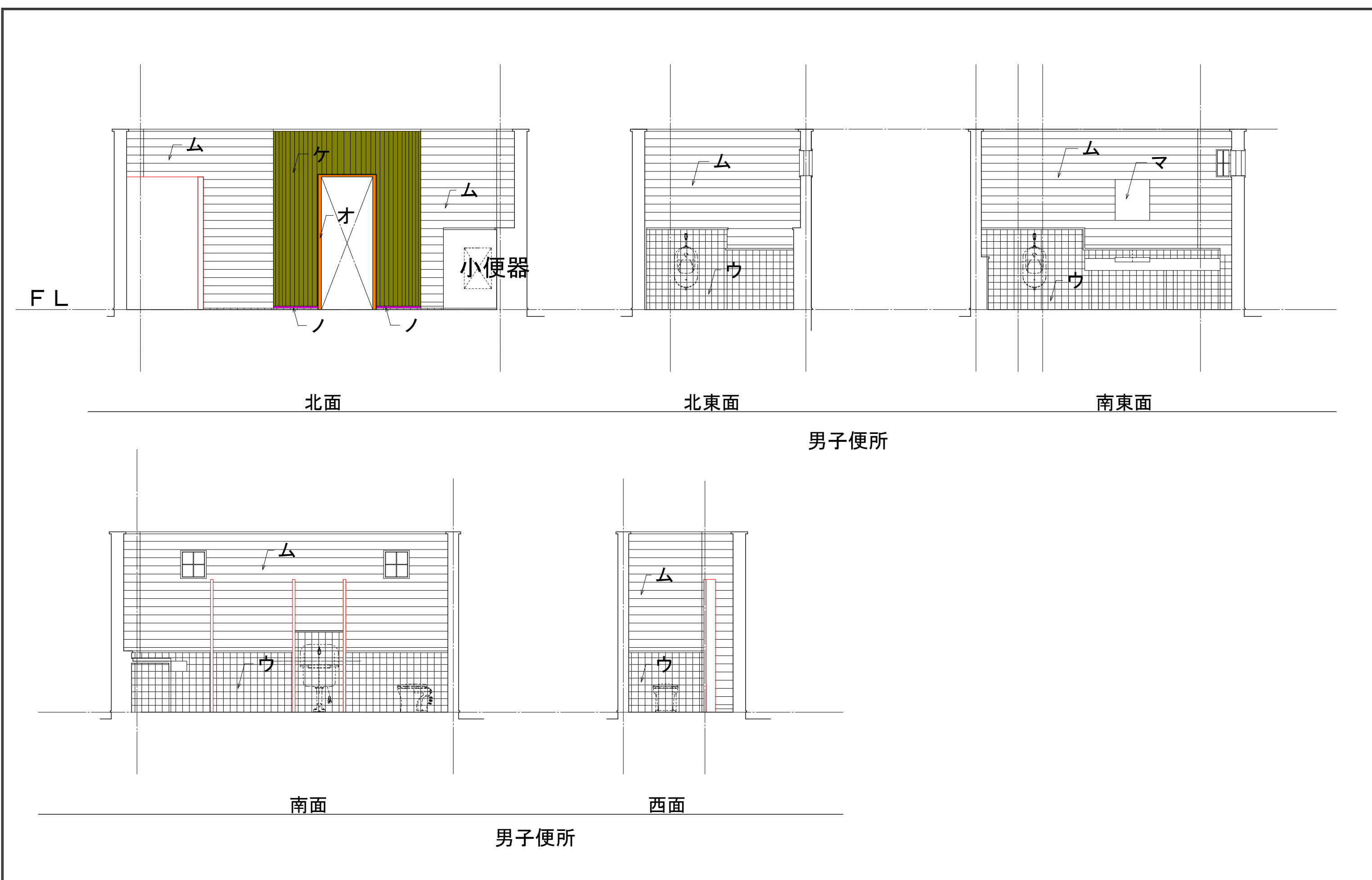


1 階床伏図 S=1/60

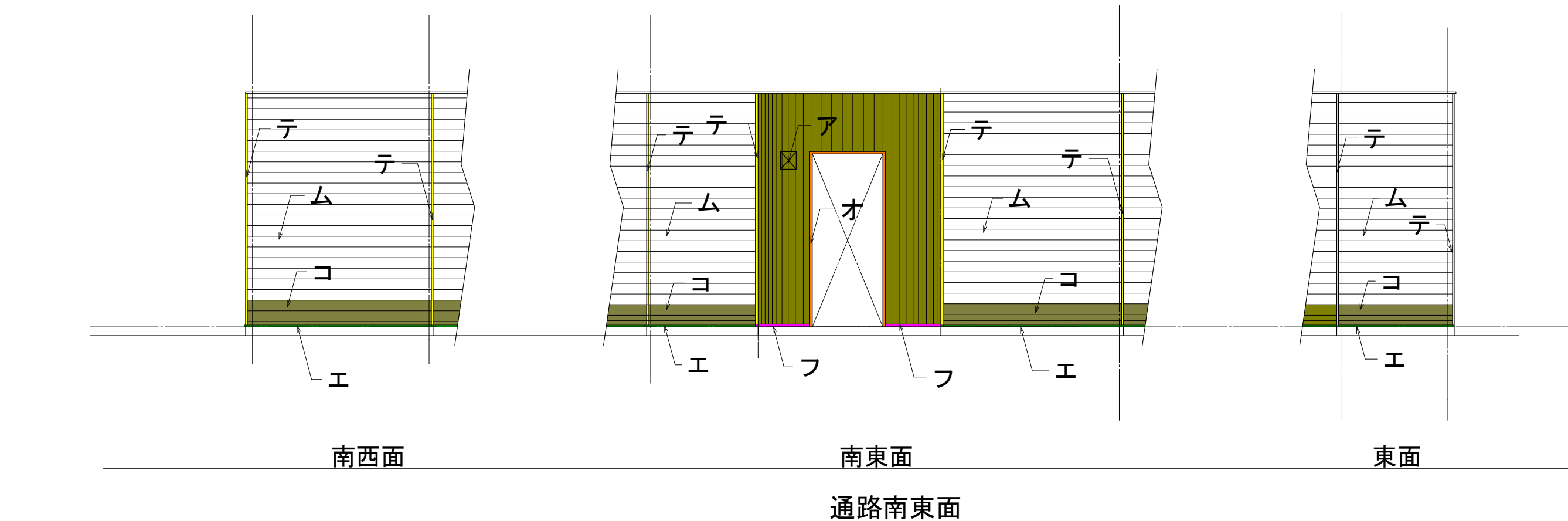
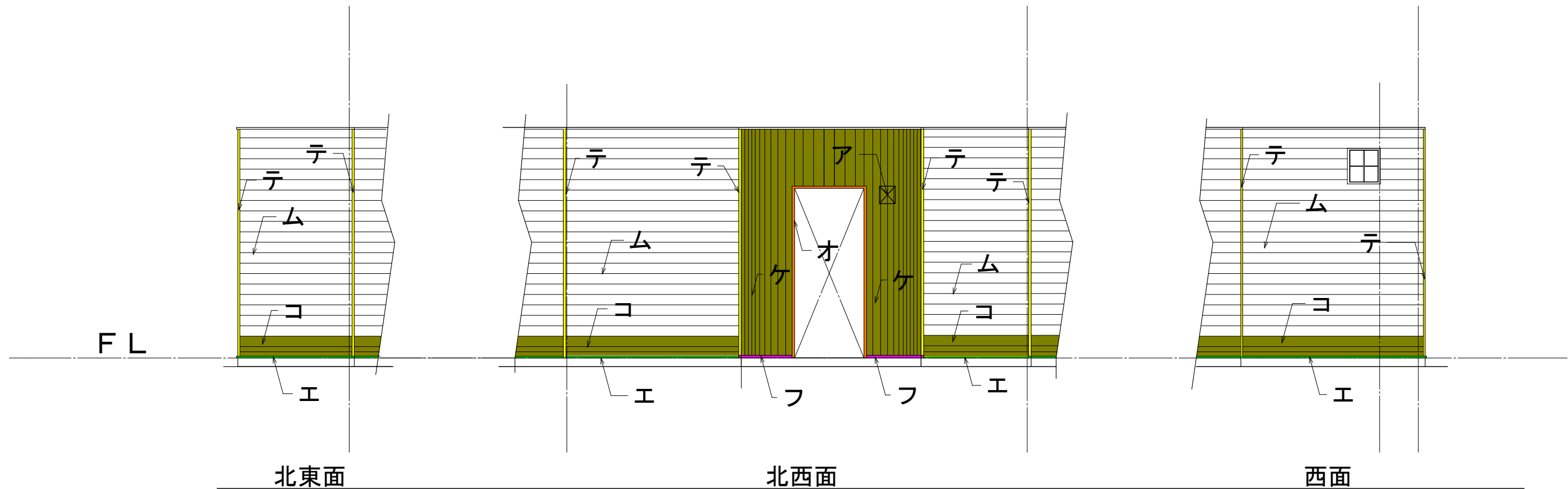
工事名	原岡栈橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名		図面NO A-18
備考				間宮	間宮		1階 床伏図		
						R8.8.20		縮尺	S=1/60



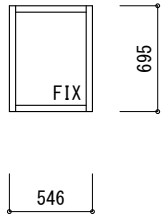
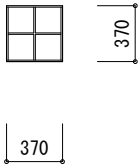
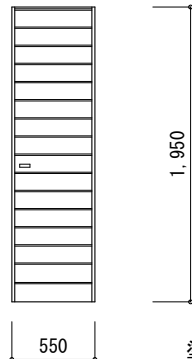
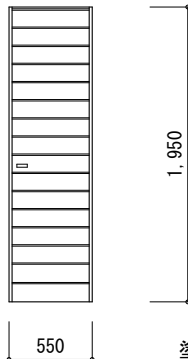
工事名	原岡栈橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名		展開図-1 A-19	図面NO
				間宮	間宮			縮尺		
備考					R8.8.18					



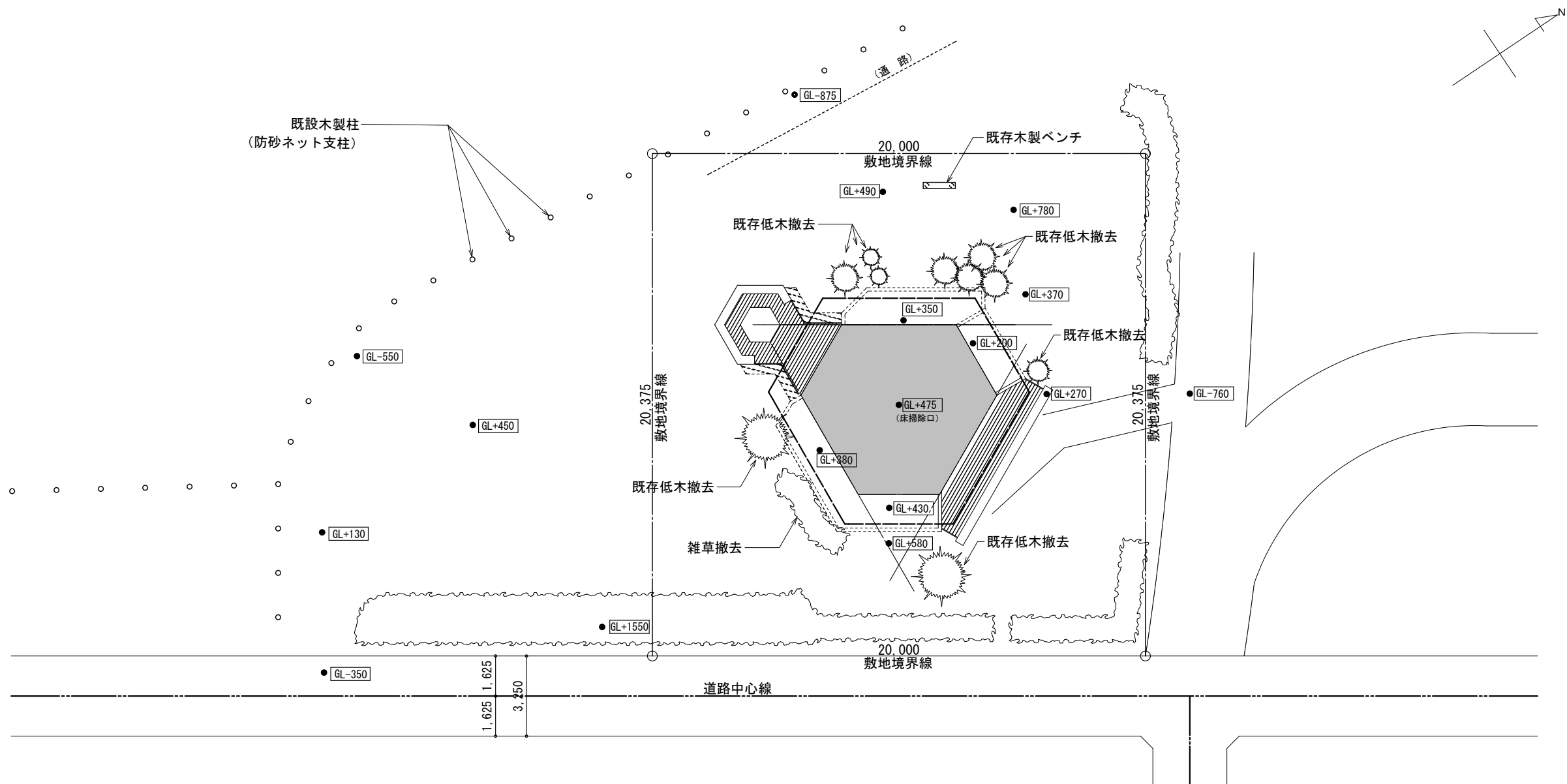
工事名	原岡 棧橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名		展開図-2 A-20	図面NO
	備考			間宮	間宮		縮尺	S=1/50		



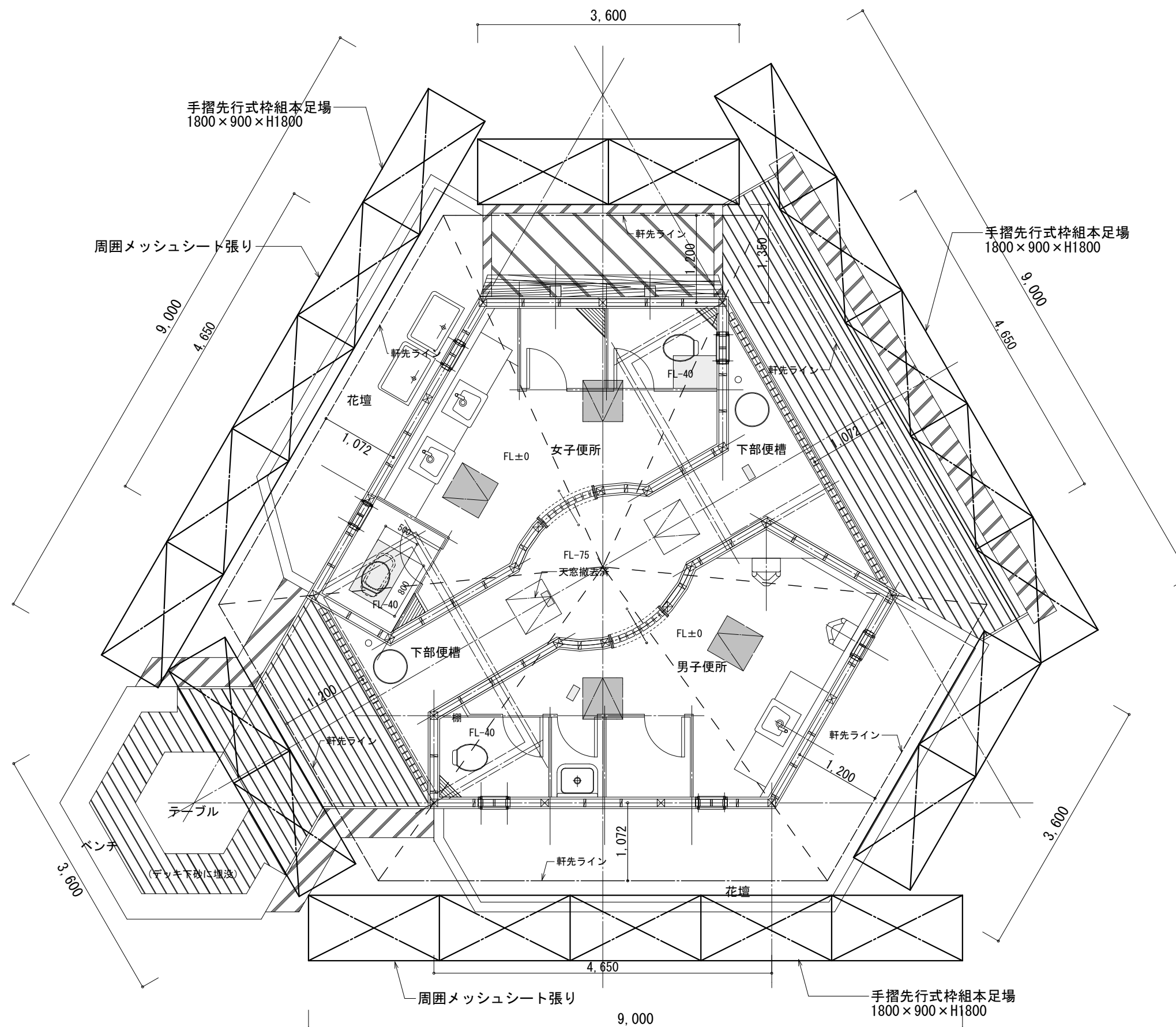
工 事 名	原岡 栈橋 トイレ 改修 工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 T E L 0470-47-5520 千 葉 県 知 事 登 録 第 1-2209-4705 号 F A X 0470-47-5540	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管 理 者	設 計 者	担 当 者	図 面 名		展開図 - 3	図 面 N O A-21
	備 考			間宮	間宮		縮 尺	S=1/50		
					R8. 8. 18					

記号・取付場所・数量	T 1 男子・女子トイレ	4	GB 2 男子・女子トイレ	6	WD 1 男子・女子トイレ	5	WD 2 男子トイレ	1
形状		撤去新設		既存のまま		塗装改修 建具本体既存のまま		塗装改修 建具本体既存のまま
型式	アルミ+木製嵌め殺し天窓		アルミ枠付きガラスブロック		木製片開き戸		木製片開き戸	
材質・仕上	外部アルミ製/内部木製		アルミ/ガラスロック		杉板 12×120横張、WP 塗装改修		杉板 12×120横張 WP 塗装改修	
硝子	透明合わせ強化複層ガラス 3+A9+2.5+2.5		ガラスブロック厚さ100					
金物	標準金物一式				ラバトリーヒンジ、戸当たり、帽子掛け		丁番、ドアハンドル、本締鍵、戸当たり	
備考	日本ベルックス(株) F S C O 1 同等品				スリムボルト表示付			

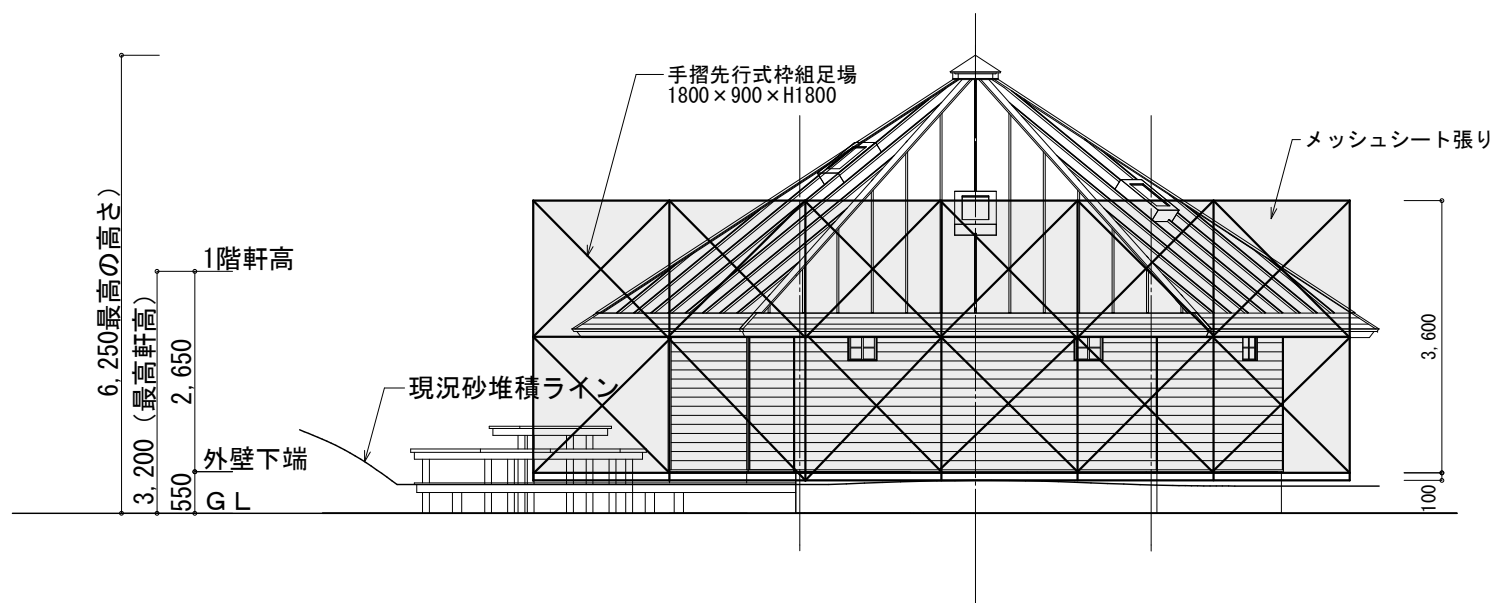
工 事 名	原岡 棧橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管 理 者	設 計 者	担 当 者	図 面 名	建 具 表 縮 尺 S=1/50	図 面 N O A-22
備 考				間宮	間宮				



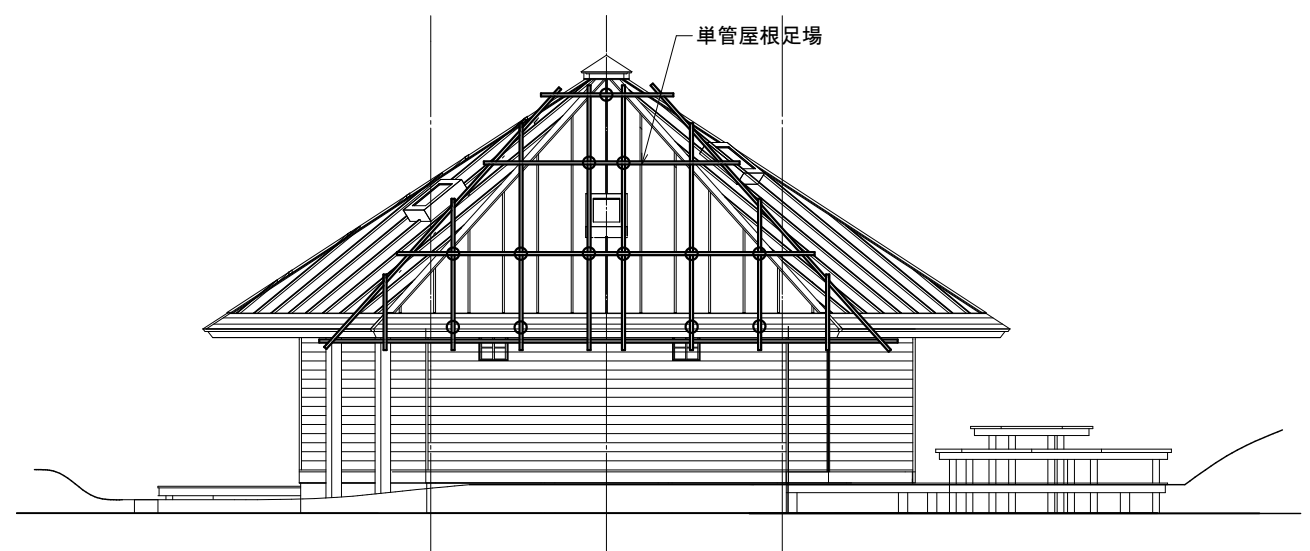
工事名	原岡 棧橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名		図面NO A-23
備考				間宮	間宮		外構既存・撤去図		
					R8.8.25		縮尺	S=1/200	


$$S = 1/60$$

工事名	原岡棧橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者 間宮	設計者 間宮	担当者	図面名 足場計画平面詳細図	図面NO A-24
備考					R8.8.18		縮尺 S=1/60	

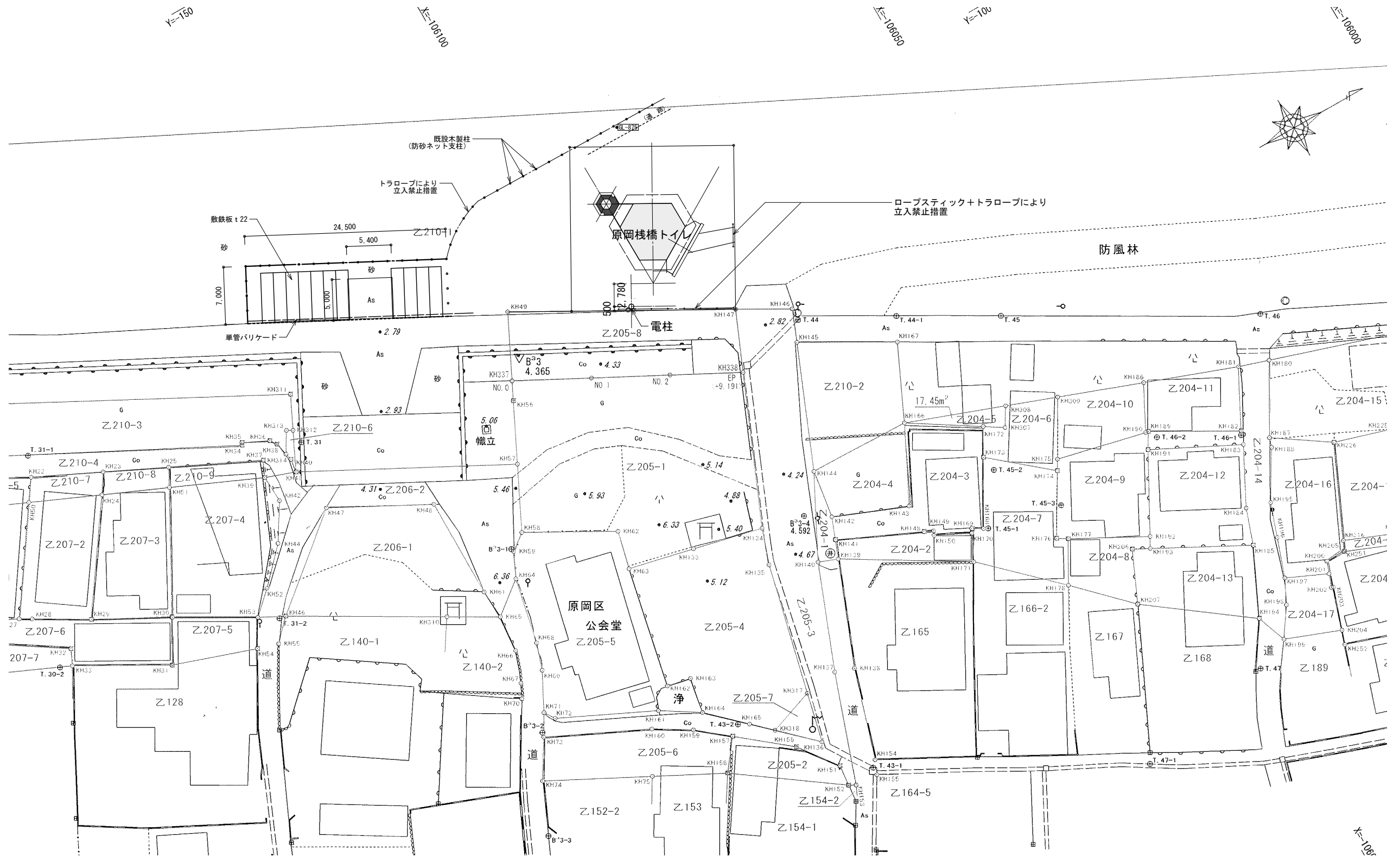


南側立面図 S=1/100



北西側立面図 S=1/100

工事名	原岡 栈橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名		図面NO A-25
備考				間宮	間宮		縮尺	S=1/100	



仮設計画図

S=1/500

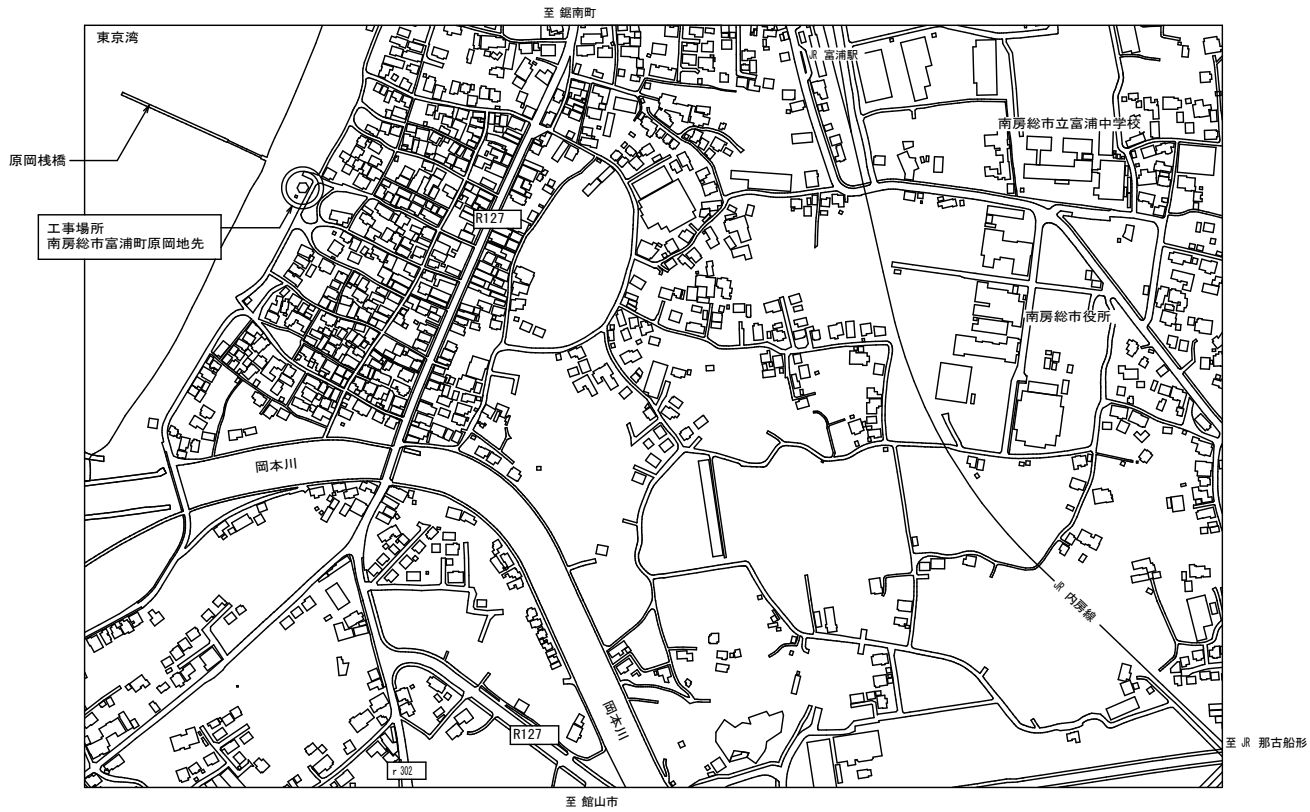
工事名 原岡栈橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号 FAX 0470-47-5540	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者 間宮	設計者 間宮	担当者	図面名 仮設計画図 図面NO A-26
備考				縮尺 R8.8.25	S=1/500	

[illegible]

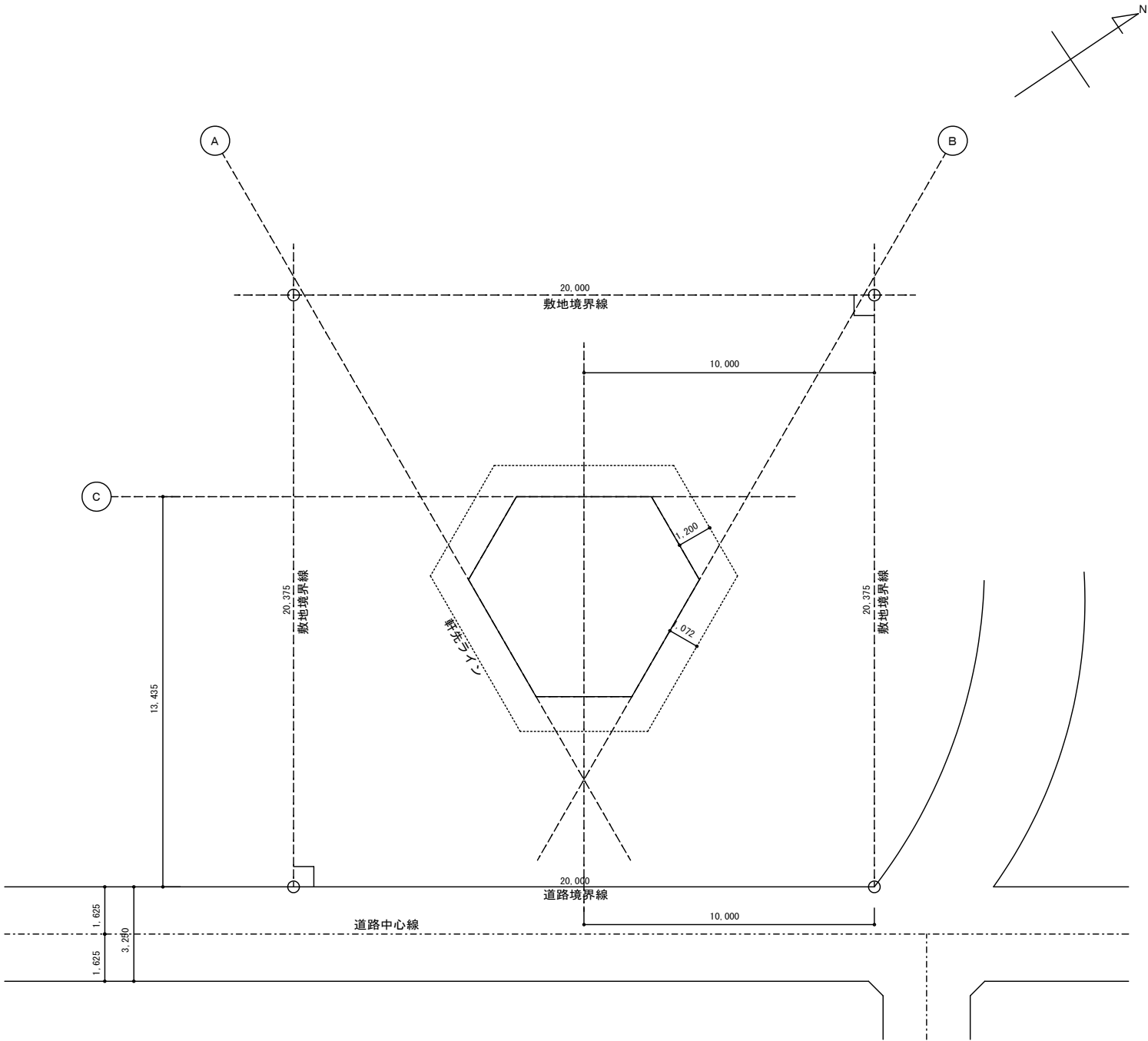
電 気 工 事 凡 例

○ 印を本工事に適用する。

	記 号	名 称	備 考		記 号	名 称	備 考		記 号	名 称	備 考			
○ 共 通		天井隠ぺい配線		○ 動 力 設 備		動力制御盤		○ 火 災 報 知 設 備		複合盤 火 報 窓 防排煙 窓 ガス漏 窓				
		床隠ぺい配線				警報盤				受信機	P 型 1 級 回線ベル内臓			
		地中配線				開閉器箱	容量を傍記			副受信機	回線主ベル内臓			
		ケーブル配線				電動機 (別途)				機器収容箱	屋内消火栓箱箱込み			
		露出配管配線 (外部厚鋼管 (サイズ) 使用)	塗装仕上げ			電熱器 (電器炉) (別途)				機器収容箱				
		空配管 1. 2 ビニール被覆鉄線挿入				換気扇				差動式スポット形感知器 2 種 埋込形	1 種の場合は、傍記による。			
		立上り・立下り・素通し				フロートスイッチ	傍記は電極数			差動式スポット形感知器 2 種 埋込形	1 種の場合は、傍記による。			
		ブルボックス				フロートレススイッチ電極				定温式スポット形感知器	特種			
		ジョイントボックス				サーモスタット (別途)	制御用			定温式スポット形感知器 1 種				
		接地極	傍記は種類			ヒューミディスタット (別途)	制御用			定温式スポット形感知器 1 種 防水形	特種の場合は、傍記による。			
		埋設標 (地中線) (ケーブル及び接地用杭)				積算電力量計				煙感知器 2 種 露出形	1 種の場合は、傍記による。			
		ハンドホール				過電流と欠相と逆相を保護する継電器				煙感知器 2 種 埋込形	1 種の場合は、傍記による。			
		コンクリート柱	長さ、束口径、設計荷重は傍記による。			過電流と欠相を保護する継電器				煙感知器 2 種 点検ボックス付	1 種の場合は、傍記による。			
		支線	太さは傍記による。			地絡方向継電器				煙複合式スポット形感知器 2 種・3 種複合式 露出形	1 種・2 種複合式の場合は、傍記による。			
		支柱	材質、長さは傍記による。		ON	入				煙複合式スポット形感知器 2 種・3 種複合式 埋込形	1 種・2 種複合式の場合は、傍記による。			
			OFF	切			光電式分離形感知器 (送光部・受光部)	種別は、傍記による。						
			MA 又は M	手 動			終端抵抗器							
			AUT 又は A	自 動			空気管	――○―― 貫通ヶ所を示す。						
受 変 電 設 備		ケーブルヘッド		電 話 設 備		端子盤		自 動 開 閉 装 置 設 備		差動式分布形感知器の検出部	種別は、傍記による。			
		断路器				交換機				差動スポット試験器	種別は、傍記による。			
		高圧真中開閉器 (箱入)				電話アウトレット (床用)	遠隔用コネクタプラグユニット モジュラー埋込端子			回路試験器				
		高圧真空開閉器 (箱入)				電話アウトレット (壁付)	・ 多機能：4 C 用 ・ 一般形：2 C 用			P 形発信機	種別は、傍記による。 傍記を X は、防煙型をします。			
		高圧ガス開閉器 (箱入)				電話機				P 形発信機 屋外用	種別は、傍記による。			
		高圧真空接触器				空配管 1. 2 ビニール被覆鉄線挿入				警報ブザー				
		交流電源								警報ブザー 屋外用				
		電池								表示灯				
		電磁接触器								移報器 (消火栓)				
		双投電磁接触器								移報器 (警報会社等機器)				
		高圧カットアウト (ヒューズ付)								火災報知設備警戒区域境界線				
		差込形断路器								火災報知設備警戒区域番号				
		零相変流器												
		計器用変流器								機器収納箱 (屋外用)	消火栓箱箱込み			
		計器用変圧器								機器収納箱 (屋内用)				
		ヒューズ												
		変圧器												
		高圧進相コンデンサ												
		交流遮断器												
		油遮断器												
		真空遮断器												
		磁気遮断器												
		ガス遮断器												
		気中遮断器												
		配線用遮断器												
		漏電遮断器												
		電圧計 電圧計切替スイッチ												
		電流計 電流計切替スイッチ												
		力率計												
		無効率計												
		最大需要電力計												
		最大需要電流計 (警報接点付)												
		周波数計												
		電力量計												
		試験用電流端子												
		試験用電圧端子												
		過電流継電器												
		地絡継電器												
		避雷器												
	電 灯 設 備					電 気 時 計			LED (40 型) ・蛍光灯 40Wx1	妥図参照	自 動 開 閉 装 置 設 備		連動制御器 (連動制御盤)	1 回路用
									蛍光灯 40Wx2	妥図参照			連動制御器 (連動制御盤)	多回路用
									LED (20 型) ・蛍光灯 20Wx1 / 壁付	妥図参照			煙感知器	3 種確認灯付 露出形
					LED ・蛍光灯 (角形)		妥図参照		自動開閉装置 (防火戸)	D C 2 4 V 0. 5 A 以下 防火戸用				
					白熱灯		妥図参照		自動開閉装置 (防火シャッター)	別途				
					LED 灯 (壁付)		妥図参照		自動開閉装置 (防煙たれ壁)	別途				
					ダウンライト (押込形)		妥図参照		自動開閉装置 (防煙ダンバ)	別途				
					屋外灯		妥図参照		自動開閉装置 (排煙口)	別途				
					避難口誘導灯 廊下通路誘導灯 室内通路誘導灯		妥図参照 (必要に応じて避難方向の矢印を傍記する。)		動作区域番号 (防火戸・シャッター)					
					階段通路誘導灯		妥図参照		動作区域番号 (防煙ダンバ)					
					LED (電池内蔵形非常用照明器具)		妥図参照							
					蛍光灯 天井付 (電池内蔵形非常用照明器具)		妥図参照 (階段通路誘導灯などの、取付器具を含む。)							
					蛍光灯 天井付 (電池内蔵形非常用照明器具)		妥図参照 (階段通路誘導灯などの、取付器具を含む。)							
					埋込タンブラスイッチ 1 P 1 5 A									
					埋込タンブラスイッチ 2 P 1 5 A									
				埋込タンブラスイッチ (3 路スイッチ) 3 W 1 5 A										
				埋込タンブラスイッチ (4 路スイッチ) 4 W 1 5 A										
				埋込タンブラスイッチ (防水形) 1 P 1 5 A										
				センサー用操作ユニット (2 回路)										
				センサースイッチ 親機 (8A)										
				センサースイッチ 親機 換気扇連動型										
				センサースイッチ 子機 (換気扇連動型)										
				センサースイッチ 子機										
				センサースイッチ 子機 (広角検知型)										
				自動点滅器	容量は、傍記による。									
				熱線式自動スイッチ	2A 以外は、傍記による。									
				調光器	容量は、傍記による。									
火 災 報 知 設 備				電 話 設 備		電話機		機 械 警 備 配 管		差動式分布形感知器の検出部	種別は、傍記による。			
						電話アウトレット (床用)	遠隔用コネクタプラグユニット モジュラー埋込端子			差動スポット試験器	種別は、傍記による。			
						電話アウトレット (壁付)	・ 多機能：4 C 用 ・ 一般形：2 C 用			回路試験器				
						電話機				P 形発信機	種別は、傍記による。 傍記を X は、防煙型をします。			
						空配管 1. 2 ビニール被覆鉄線挿入				P 形発信機 屋外用	種別は、傍記による。			
										警報ブザー				
										警報ブザー 屋外用				
										表示灯				
										移報器 (消火栓)				
										移報器 (警報会社等機器)				
										火災報知設備警戒区域境界線				
										火災報知設備警戒区域番号				
										機器収納箱 (屋外用)	消火栓箱箱込み			
										機器収納箱 (屋内用)				
火 災 報 知 設 備				通 信 設 備		電話機		自 動 開 閉 装 置 設 備		差動式分布形感知器の検出部	種別は、傍記による。			
						電話アウトレット (床用)	遠隔用コネクタプラグユニット モジュラー埋込端子			差動スポット試験器	種別は、傍記による。			
						電話アウトレット (壁付)	・ 多機能：4 C 用 ・ 一般形：2 C 用			回路試験器				
						電話機				P 形発信機	種別は、傍記による。 傍記を X は、防煙型をします。			
						空配管 1. 2 ビニール被覆鉄線挿入				P 形発信機 屋外用	種別は、傍記による。			
										警報ブザー				
										警報ブザー 屋外用				
										表示灯				
										移報器 (消火栓)				
										移報器 (警報会社等機器)				
										火災報知設備警戒区域境界線				
										火災報知設備警戒区域番号				
										機器収納箱 (屋外用)	消火栓箱箱込み			
										機器収納箱 (屋内用)				
火 災 報 知 設 備				電 気 時 計		電話機		機 械 警 備 配 管		差動式分布形感知器の検出部	種別は、傍記による。			
						電話アウトレット (床用)	遠隔用コネクタプラグユニット モジュラー埋込端子			差動スポット試験器	種別は、傍記による。			
						電話アウトレット (壁付)	・ 多機能：4 C 用 ・ 一般形：2 C 用			回路試験器				
						電話機				P 形発信機	種別は、傍記による。 傍記を X は、防煙型をします。			

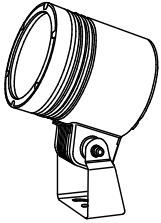
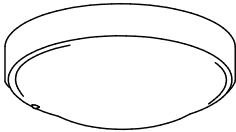
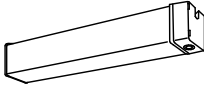


案内図 S : NON

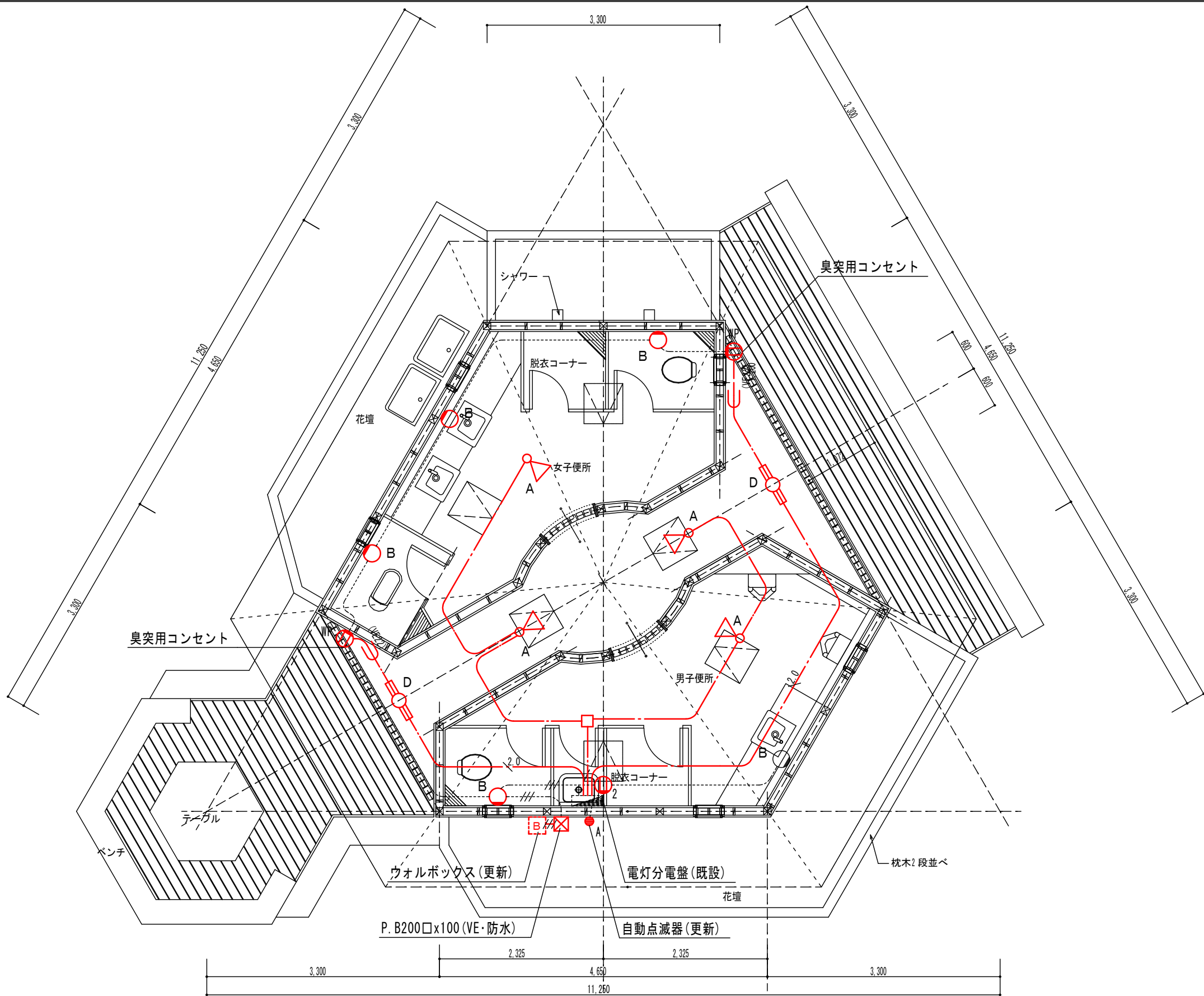


配置図 S : 1/200

工事名	原岡橋トイレ改修工事			間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0474-41-510 FAX 0474-41-550	管理者 間宮 幸男	設計者 間宮 幸男	担当者 佐久間 幸男	図面名 案内図・配置図	図面NO E-04
備考					目付	目付 R8.8.20	目付	縮尺 S=1/200[A3]	

A	LEDスポットライト750形	B	LEDシーリングライト	D	LEDウォールライト 20形
750形  器具光束4210lm、消費電力70W、電圧100～242V 彩光色、電球色、3000K、Ra93、拡散タイプ 光束維持時間40000時間（光束維持率70%） 本体：アルミダイカスト（ミディアムグレーメタリック） パネル：強化ガラス 据置取付型、耐風速60m/s パナソニック NYT1074FLE9 相当品		30形丸形蛍光灯1灯器具相当  温白色（3500K）、Ra83 器具光束965lm、消費電力10.7W、電圧100V 防湿型・防雨型、拡散タイプ、ネジ込み方式 プラスチック（ホホワイト） カバー：アクリル（乳白） パナソニック LGW51705WCF1		20形 センサ・EEセンサ付  LED内蔵、電源ユニット内蔵 防雨型、ひと（熱線）センサ・EEセンサ付（約30～100%段調光） 3000K、Ra83、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束1390lm、消費電力14.9W、電圧100～242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型、保護等級：IP23 パナソニック NNFS21870CLE9 相当品	

工事名	原岡棧橋トイレ改修工事		間宮建築設計事務所	一級建築士 大庭忠雄 第208415号 千葉県建築登録 第1-22000-4705号	管理者	設計者	担当者	図面名	図面NO
備考			千葉県南房総市和田町花園897-6番地	TEL 0478-47-5520 FAX 0478-47-5540	間宮 幸男	間宮	佐久間	照明器具 機器姿図	E-05
					目付	目付 R8.8.20	目付	縮尺 NON	



特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	既設
	プルボックス	—
	配線用遮断器(ボックス内)	更新
	LED灯 20形	姿図参照
	LEDブラケット	姿図参照
	LEDスポットライト	姿図参照
	コンセント 2P15Ax2	更新
	防雨型コンセント 2P15Ax1 接地付き	更新
	自動点滅器	更新

特記なき配線は下記による。	
記 号	名 称
-----	既設配線・配管
-----	EM-EEF2.0-3C(1cE)(木部サドル止め)
----- (VE22)	EM-EEF2.0-3C(1cE)
----- ///	EM-CE3.5□-3C(VE22)
----- 2.0	EM-IE2.0

注記)

1) 照明器具をLEDへ更新。

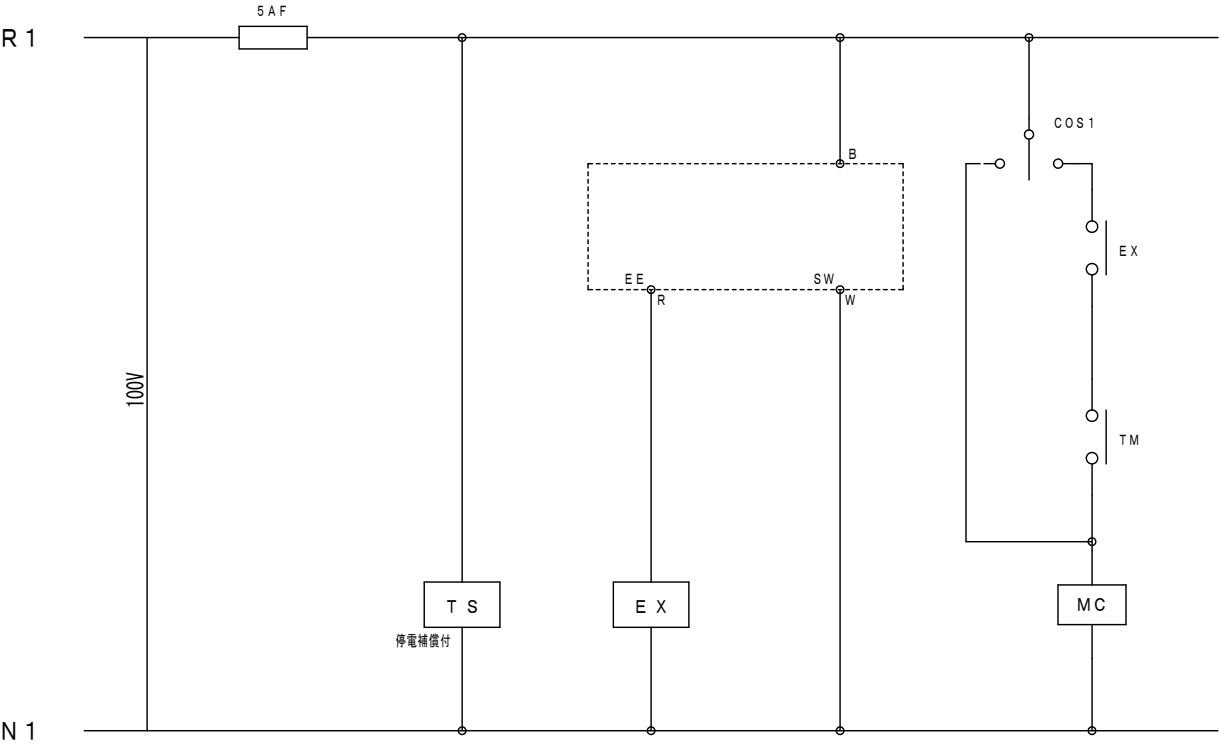
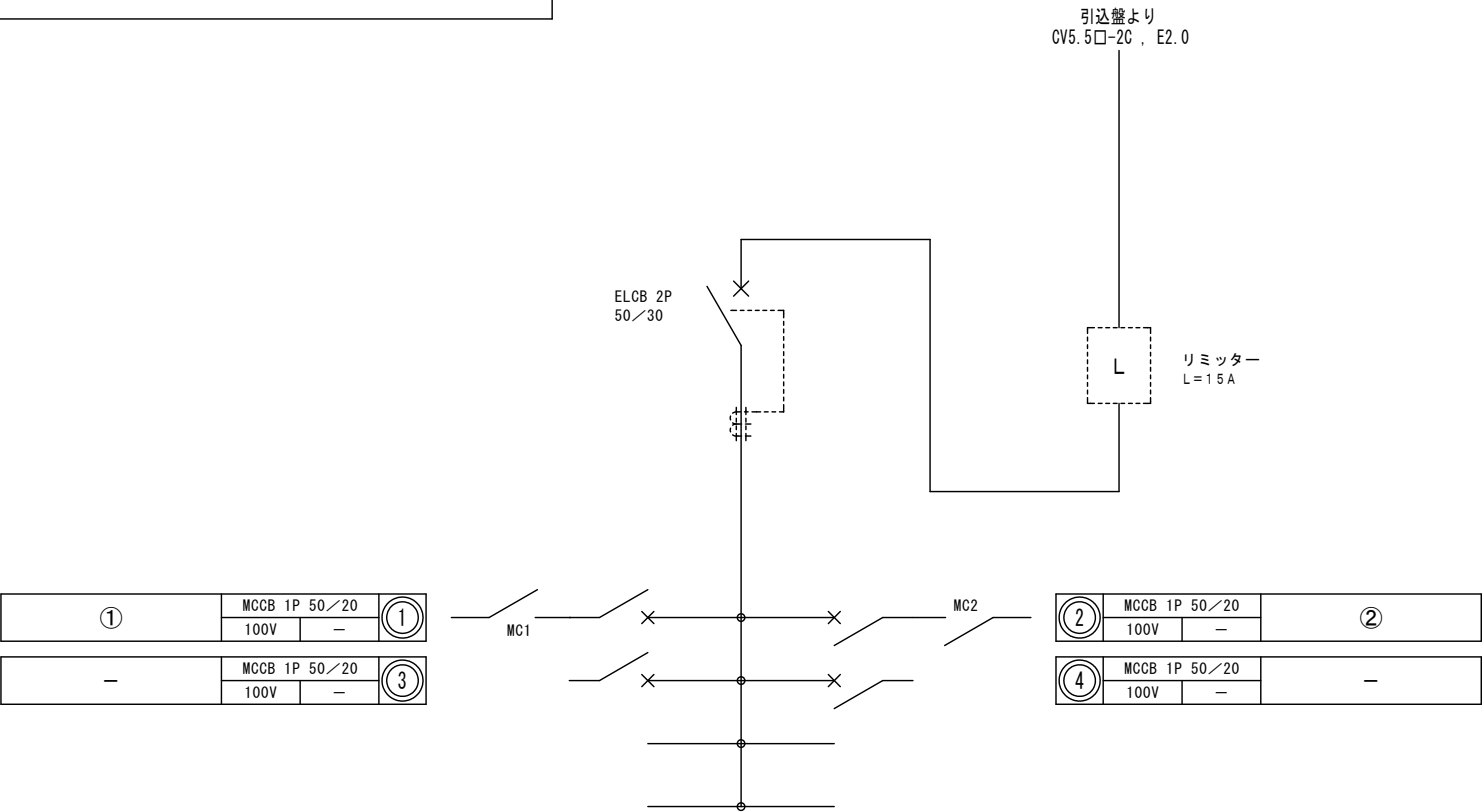
2) 配線器具の更新を行う。

3) 屋外のウォルボックスを更新とする。

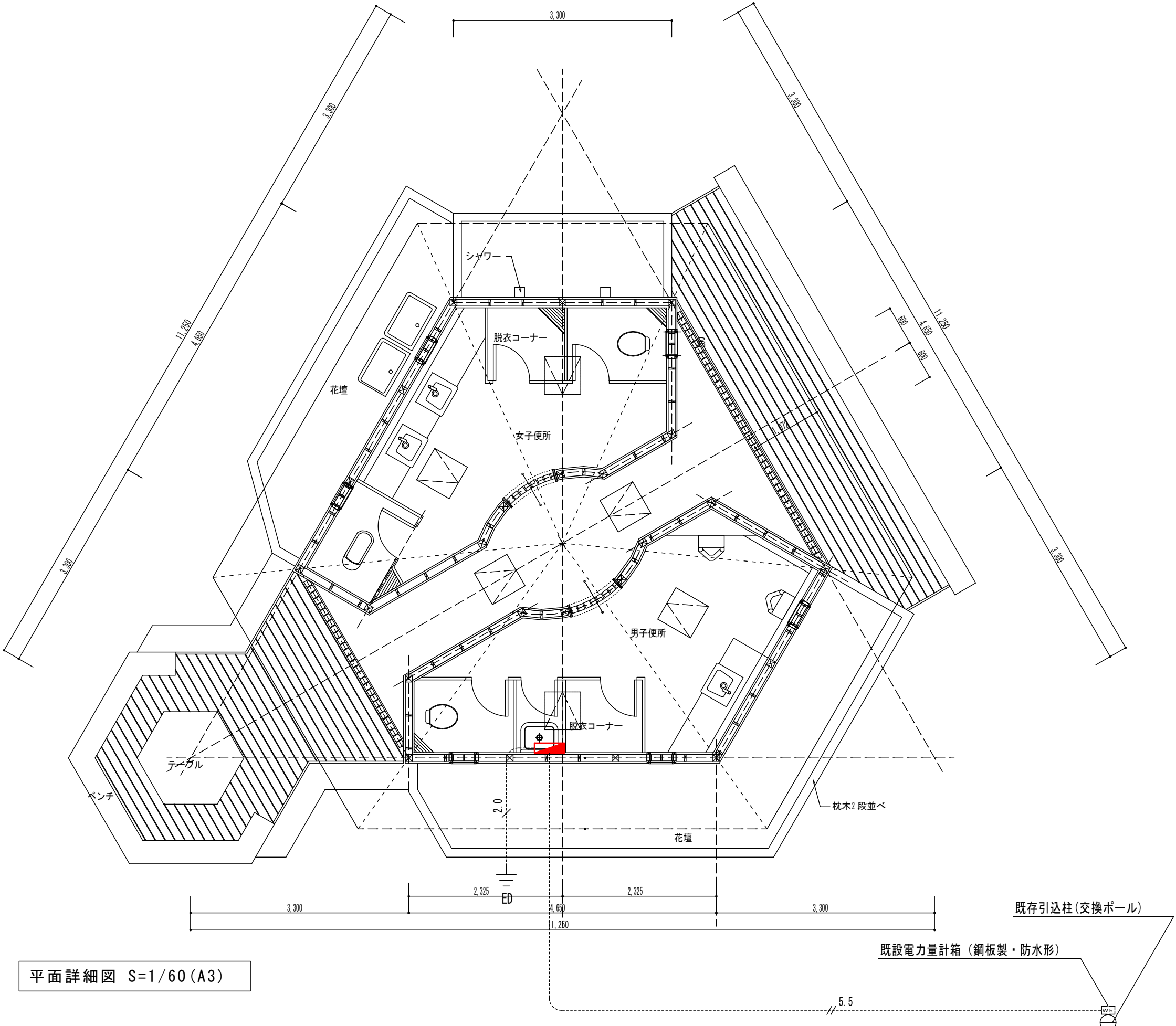
開閉器は既設品再使用とする。

平面詳細図 S=1/60 (A3)

電灯分電盤 単線結線図（現況）



- 注記)
- 1) 露出型・壁掛型・銅板製
 - 2) 電灯分電盤は既設のままとする。

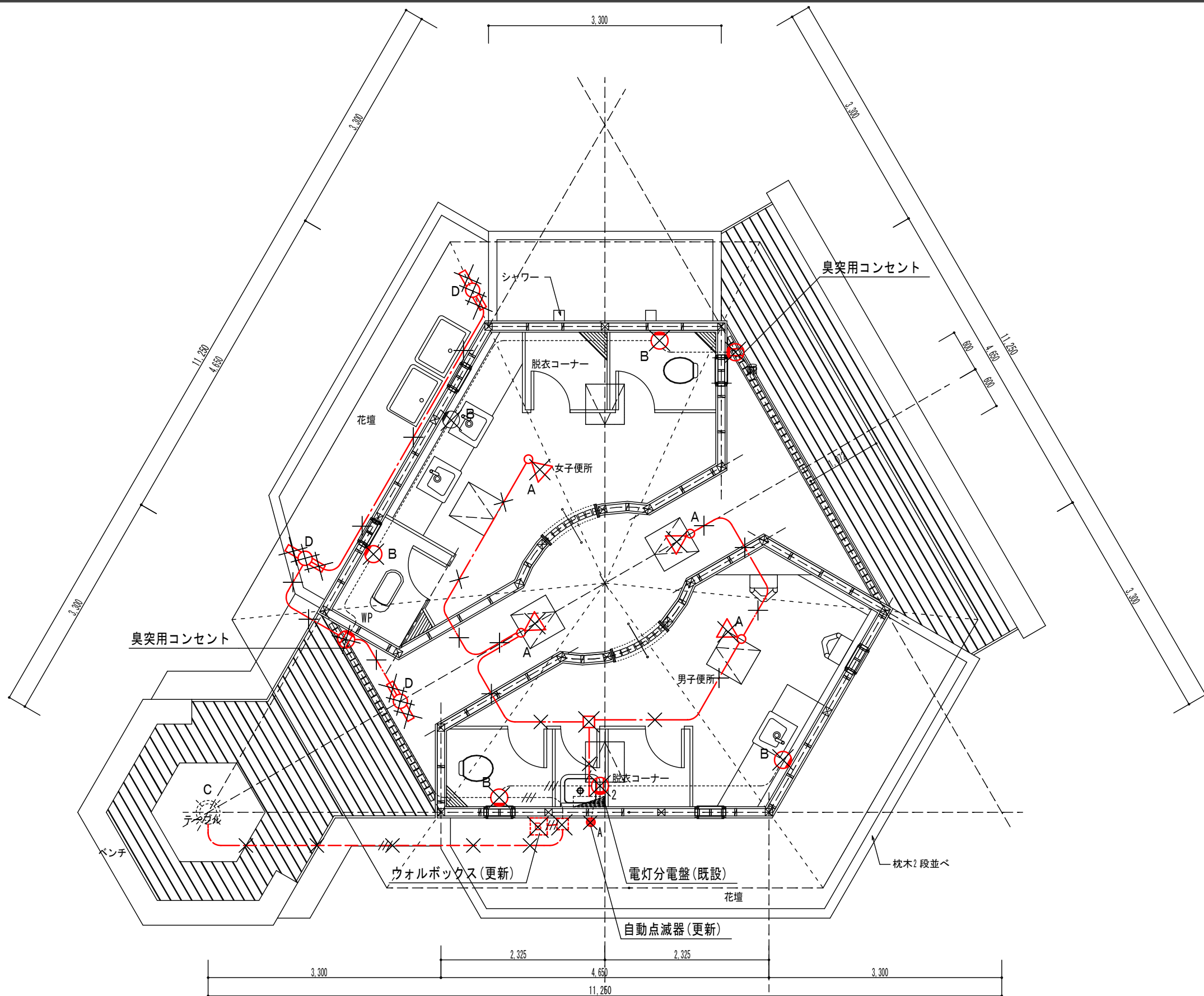


平面詳細図 S=1/60 (A3)

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電 灯 分 電 盤	既 設
	引 込 柱	—
	電 力 量 計 箱	—
	D 種 接 地	—

特記なき配線は下記による。	
記 号	名 称
-----	既 設 配 線 ・ 配 管

注記)



平面詳細図 S=1/60 (A3)

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電 灯 分 電 盤	既 設
	ジョイントボックス	更新
	配線用遮断器 (ボックス内)	更新
	蛍 光 灯 FL20×1	更新
	ブラケット FML13Wx1	更新
	スポットライト HF100Wx1	更新
	庭園灯 MF100Wx1	—
	コンセント 2P15Ax2	更新
	防雨型コンセント 2P15Ax1	更新
	自動点滅器	更新
	撤去品	—

特記なき配線は下記による。	
記 号	名 称
	既設配線・配管
	VVF2.0-2C(木部サドル止め)
	CV3.5□-3C(PF16)
	CV3.5□-2C(PF16)

注記)

1) 図中の×は撤去を示す。

2) 躯体内の埋込配管は残置とする。

	原岡橋橋トイレ改修工事		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		
	○ フレックス工期契約制度 ○ 適用する 工事の着手期限日 令和〇年〇月〇日 工事の終期日 令和〇年〇月〇日 ●適用しない 留意事項 ・受注者は、工事着手日を明らかにするため、契約締結後7日以内に工事着手日通知書(第1号様式)を発注者に 届け出なければならない。 ・契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設業法(昭和24年5月24日法律第100号)第26条に基づく主任技術者 又は監理技術者の設置を要しない。 ・契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設工事請負契約書第11条に基づく現場代理人の設置を要しない。 ・工事着手日までの間は、工事の施工(現場事務所の設置、資機材等の発注及び工場製作を含む)を行ってはならない。 前金払は、工事着手日のの前日までは請求できない。 ・工事実績精理システムへの登録に際しては、主任(監理)技術者及び現場代理人の従事期間は、工事着手日をもって 登録するものとする。(工事契約日から工事着手日の前日までを除くこととする。)		○ 電気保安技術者 本工事現場に置く電気保安技術者は、千葉県自家用電気工作物保安規程第三条に定める工事管理者 ()の任命する監督職員の職務を補佐し、電気工作物の保安業務を行うものとする。 原則として、新築または増築に係る面積が、3,000㎡を超える建物の内、通風換気作業の各専任工事者が、100万円以上の大規模工事に通ず。		○ 技能士の適用 ○ 配管施工(配管工事) ● 建築板金施工(ダクト製作及び取付け) ○ 熱絶縁施工(保温工事) ● 冷凍空調機器施工(冷凍空調機器の据付)		○ 引渡しを要するもの ○ 下表による		● 工事写真 ● デジタル工事写真 の小黑板情報電子化		○ 適用 区分 ○ 配 管		建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風速(V) m/s 地表粗度区分() Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表() (1) ステンレス鋼管の場合は、下記による。 ○ 呼び径60φ以下 SAS322を満足した継手。 ○ 呼び径75φ以上 () (2) 建築物導入部の変位収収法は、標準図(建築物導入部の変位収収配管要領)による。 ○ (a) ○ (b) ○ (c) (3) 溶接部の非破壊検査 ○ 不要 ○ 要() 「機器と配管接続部」取り付け箇所は図示による。 (1) 地中埋設部 ○ 要 (図示による) ○ 不要 (2) 埋設表示用テープ ○ 要 (排水管を除く) ○ 不要 ○ 保 温 ○ 別表-2 保温工事仕様による。 ○ 屋外露出部 ○ 下記の機器器 ○ 給水管 ○ 消防水 ○ 配管管 ○ ドレン管(配管には弁類を 含む)は ○ 防凍保温 ○ 凍結防止ヒーター)を行う。 (対象機器) 防凍保温は、厚さを配管の呼び径25以上は50mm、呼び径32以上は40mmとし、保温を施す。 凍結防止ヒーターは、自己サーモ式とし、保温を施すものとする。 ○ 共同溝、トレンチの保温は(標準仕様書第2編の施工箇所)を適用する。 ○ 多湿箇所は下記の場所とする。(天井内共多湿箇所とする) ○ 浴室(ニーストは除く) ○ 脱衣室 ○ ○ 屋内露出 (実験室)の保温外装は()とする。 ○ 合成樹脂製カバーは()シートタイプ ○2ジャケットタイプ)とする。		
	3. 工事種目(●印の付いたものを適用する。)		1 共通事項		● 建設副産物の 処 理 等		● 設計図CADデータ		● 電子納品		○ 試 験		● 安全対策		
	建物別及び屋外 工 事 種 目 ○ 空気調和設備 ○ 換気設備 ○ 排煙設備 ○ 自動制御設備 ○ 衛生器具設備 ○ 給水設備 ○ 排水設備 ○ 給湯設備 ○ 消火設備 ○ 厨房設備 ○ ガス設備 ○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備 ○ 撤去工事 ○ ○		1) 「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」 及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム(CORRIS)」により作成し、施工計 画書に各各1部提出すること。 また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」 並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出する とともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。 ◎作成対工事 「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請求金額が、「再生資源利用実施書」 及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請求 金額 100 万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわ らず作成する。 「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設 副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。なお、 建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契 約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申 請書に添付すること。 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際 に果たした処理費等を証明する資料(受入伝票、写真等)を監督職員に提示し確認を受けること。 3)建設副産物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づくマニフェスト方式による場合は、 原則として複写式伝票のり票及びEメールの2つを提出すること。 また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として産業物の処理及び消却に関する法律に基づき 指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を提示すること。 2.建設発生土 1)指定(A)(工事間利用)の場合 本工事により発生する建設発生土のうち、下記に示す建設発生土については、工事間流用を図るもの とし、下記指定地に搬出すること。 ア 搬出先(相手先工事名、場所等) 工 事 市 町地先 イ 土質及び処理量 第 種建設発生土 m3 ウ 搬出時期 年 月 ～ 年 月 なお、搬出手続き等は監督職員の指示によること。 2)指定(A)(その他)の場合 建設発生土()m3は、 地先に搬出するものとする。 なお、詳細については監督職員の指示によるものとする。 3)指定(B)の場合 建設発生土()m3は、片道運搬距離 kmに搬出するものとする。 3.路盤廃材 本工事により発生する 路盤廃材()tは 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。 4.建設廃棄物 本工事により発生する 1)アスコン塊()tは 市 町地先、片道運搬距離 kmの (※ 中間処理場・最終処分場) に運搬し、処理するものとする。 2)コンクリート塊()tは 市 町地先、片道運搬距離 kmの (※ 中間処理場・最終処分場) に運搬し、処理するものとする。 3)建設発生土材()tは 市 町地先、片道運搬距離 kmの (※ 中間処理場・最終処分場) に運搬し、処理するものとする。 4)建設汚泥()tは 市 町地先、片道運搬距離 kmの (※ 中間処理場・最終処分場) に運搬し、処理するものとする。 5)ガラスくず及び陶磁くず()m3は 市 町地先、片道運搬距離 kmの (※ 中間処理場・最終処分場) に運搬し、処理するものとする。 6)金属くず()m3は 市 町地先、片道運搬距離 kmの (※ 中間処理場・最終処分場) に運搬し、処理するものとする。 7)廃プラスチック()m3は 市 町地先、片道運搬距離 kmの (※ 中間処理場・最終処分場) に運搬し、処理するものとする。 8)安定型廃棄物(1 m3)は 南房総市荒川地先、片道運搬距離 18 kmの (※ 中間処理場・最終処分場) に運搬し、処理するものとする。 なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。 工事発注後、事情により上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。 5.再生処理土 1)指定(A)(工事間利用)の場合 本工事により再生処理した処理土のうち、下記に示す処理土については、工事間流用を図るものとし、 下記指定地に搬出すること。 ア 搬出先(相手先工事名、場所等) 工 事 市 町地先 イ 土質及び処理量 第 種建設発生土 m3 ウ 搬出時期 年 月 ～ 年 月 なお、搬出手続き等は監督職員の指示によること。また、建設汚泥の再生利用に当たっては、平成 18年6月12日国土交通省事務次官通知「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン」等に基づき、 適正に処理すること。 留意事項 1 利用先の確保 建設発生土情報交換システム(JACIC)を活用して、建設発生土と同様、積極的に工事間利用により 利用先の確保に努める。 2 中間処理施設の選定 中間処理施設の選定に当たっては、利用先の品質要件にあう発生処理土を確保するため、他の積土 と混ざらないようにいかに再生処理できるかが大きな要素となる。このため、経済性を含めて、 総合的に判断する必要がある。 また、リサイクル原則化ルールに基づき、建設副産物情報交換システム(CORRIS-JACICシステム) の登録処理業者を活用して、50km圏内で検索する。 3 品質・安全性の確保 処理土の品質・安全性を確認するため、土質試験、土壌分析試験などを行う。 4 一時保管 利用先との工程調整のため一時保管する場合には産業物処理法等の手続きが必要となるので注意 する。 ● 埋め戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ● 根切り土の中の良質土 ○ 山砂の類		● 建設副産物の 処 理 等		● 設計図CADデータ		● 電子納品		○ 試 験		● 安全対策		● 安全対策
	4. 指定部分 ○ 無 ○ 有 対象部分() 指定部分工期 令和 年 月 日		5. 設備概要(●印の付いたものを適用する。)		● 設計図CADデータ		● 電子納品		○ 試 験		● 安全対策		● 安全対策		
	方式及び仕様 ○ 空調方式 ○ 主要熱源機器 ○ 自動制御方式 ○ 給水方式 ○ 排水方式 ○ 消火設備の種類 ○		設 備 概 要 ○ 空冷ヒートポンプ式												

名称 原岡棧橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号 FAX 0470-47-5540	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名	図面NO M-01
			間宮	間宮	佐久間	機械設備工事特記仕様書-1	
番号				R8.8.20		縮尺	

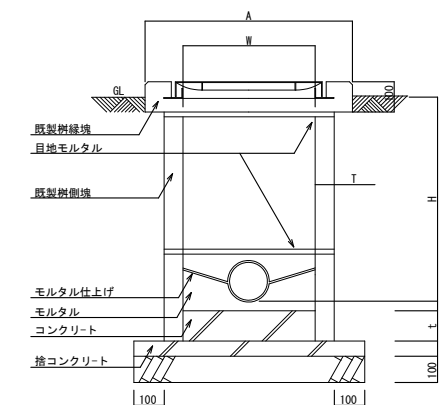
[illegible]

区分			項目	施工箇所	保温材		保 温 仕 様		外装材	
					GW	RW	PSF			SIS AL
給排水衛生設備配管	給水管	給水管	屋内露出(一般居室、廊下)		○	○	○	保温温・鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +合成樹脂製カバー	○	—
		排水・通気管		—	—	—	—	—	—	—
	排水管	給水管	機械室、書庫、倉庫	○	○	○	○	保温温・鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +原紙・アルミガラスクロス	○	—
		排水・通気管		—	—	—	—	—	—	—
	通気管	給水管	天井内、パイプシャフト内、	○	○	○	○	アルミガラスクロス化粧保温温	○	—
		排水・通気管	空腔壁中	○	○	○	○	+アルミガラスクロス粘着テープ	○	—
	給湯管	給水管	屋外露出 (バルコニー、開放廊下含む)	○	○	●	○	保温温・鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +ポリエチレンフィルム+外装材	○	●
		給湯管	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)	○	○	—	—	—	○	○
	消火管	給水管	暗渠内(ビット内含む)	○	○	○	○	保温温・鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +ポリエチレンフィルム	—	—
		給湯管		○	○	○	○	+着色アルミガラスクロス	—	—
給湯管 (断熱管含む)	給湯管	グラスウール保温温 (GW) ロックウール保温温 (RW)		—	—	—	80A以上: 20mm、100A~150A: 25mm、200A以上: 40mm			
	保温温	ポリスチレンフォーム保温温 (PSF)		—	—	—	80A以上: 20mm、100A 以上: 25mm			
給排水衛生設備機器	鋼製タンク	屋 内	○	○	○	○	鉄 (PSFの場合鉄又は接着剤) +保温温 (厚さ25mm)	○	—	
		屋 外	○	○	○	○	+ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材	○	—	
	貯湯タンク	屋 内	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ25mm)+鉄線+外装材	○	—	
		屋 外	○	○	○	○	保温温 (厚さ50mm)+鉄線 +アルミガラスクロス+金網	○	—	
	排気筒	屋 外	○	○	○	○	—	—	—	
		屋 外	○	○	○	○	—	—	—	
	空気調和設備配管	温水管	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	保温温+鉄線+合成樹脂製カバー	○	—
		蒸気管		○	○	○	○	—	—	—
	温水管 (断熱管含む)	温水管	機械室、書庫、倉庫	○	○	○	○	保温温+鉄線+原紙 +アルミガラスクロス	○	—
		蒸気管		○	○	○	○	—	—	—
蒸気管 (低圧 (0.1MPa未満) の蒸気)	温水管	天井内、パイプシャフト内、	○	○	○	○	アルミガラスクロス化粧保温温	○	—	
	蒸気管	空腔壁中	○	○	○	○	+アルミガラスクロス粘着テープ	○	—	
温水管	給水管	屋外露出 (バルコニー、開放廊下含む)	○	○	○	○	保温温+鉄線	○	○	
	給湯管	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)	○	○	○	○	—	—	—	
排水管	給水管	暗渠内(ビット内含む)	○	○	○	○	保温温+鉄線+ポリエチレンフィルム +着色アルミガラスクロス	○	○	
	給湯管		○	○	○	○	—	—	—	
保温温	グラスウール保温温 (GW) ロックウール保温温 (RW)	温水管	80A以上: 20mm、100A~150A: 25mm、200A以上: 40mm	—	—	—	—	—	—	
	蒸気管	25A以上: 20mm、32A~50A: 30mm、65A 以上: 40mm	—	—	—	—	—	—	—	
冷水管 (断熱管含む)	冷水管	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	保温温+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +ポリエチレンフィルム	○	—	
		屋 外	○	○	○	○	+合成樹脂製カバー	○	—	
	冷媒管	冷水管	機械室、書庫、倉庫	○	○	○	○	保温温+鉄線+ポリエチレンフィルム +原紙+アルミガラスクロス	○	—
		冷媒管		○	○	○	○	—	—	—
	プライン管	冷水管	20mm以上	○	○	○	○	保温温+粘着テープ +ポリエチレンフィルム +アルミガラスクロス	○	—
		冷水管 (水温2~4℃)		○	○	○	○	—	—	—
	冷水管	冷水管	天井内、パイプシャフト内、	○	○	○	○	保温温+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +ポリエチレンフィルム	○	—
		冷媒管	空腔壁中	○	○	○	○	+アルミガラスクロス	○	—
	プライン管	冷水管	天井内、パイプシャフト内	○	○	○	○	—	—	—
		冷水管 (水温2~4℃)		○	○	○	○	—	—	—
冷水管	冷水管	屋外露出 (バルコニー、開放廊下含む)	○	○	○	○	保温温+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +ポリエチレンフィルム+外装材	○	○	
	冷媒管	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない)	○	○	○	○	—	○	○	
冷水管	冷水管	暗渠内(ビット内含む)	○	○	○	○	保温温+鉄線 (PSFの場合粘着テープ) +ポリエチレンフィルム +着色アルミガラスクロス	○	○	
	冷媒管		○	○	○	○	—	—	—	
プライン管	冷水管	グラスウール保温温 (GW) ロックウール保温温 (RW)		—	—	—	25A以上: 30mm、32A~200A: 40mm、250A 以上: 50mm			
	保温温	ポリスチレンフォーム保温温 (PSF)	冷水管 冷水管 冷水管 (水温2~4℃)	25A以上: 30mm、32A~200A: 40mm、250A 以上: 50mm 20A以上: 30mm、25A~100A: 40mm、125A 以上: 50mm 25A以上: 40mm、25A~ 80A: 50mm、100A 以上: 65mm	—	—	—			
冷媒管 (断熱材被覆装置)	外装材	ガス管保温温	20mm以上	—	—	—	保温温	10mm以上	—	—
		屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	合成樹脂カバー	○	保温温+鉄線+原紙+アルミガラスクロス	○	—
		機械室、書庫、倉庫	○	○	○	合成樹脂カバー	○	保温温+鉄線+原紙+アルミガラスクロス	○	—
空気調和設備機器	冷温水ヘッダー	屋 内	○	○	○	○	鉄 (PSFの場合鉄又は接着剤) +保温温 (厚さ50mm)	○	—	
	冷温水タンク	屋 外	○	○	○	○	ポリスチレンフィルム+鉄線+外装材	○	—	
冷水管	温水管	屋 内	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+鉄線+外装材	○	—	
	蒸気管	屋 外	○	○	○	○	—	—	—	
蒸気管	温水管	屋 内	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+鉄線+外装材	○	—	
	蒸気管	屋 外	○	○	○	○	—	—	—	
熱交換器	熱交換器	屋 内	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ25mm)+鉄線+外装材	○	—	
	熱交換器	屋 外	○	○	○	○	—	—	—	
空気調和設備ダクト	長方形ダクト (全換気設備用 ダクトは、保温 厚25mmとする)	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	長方形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
		機械室、書庫、倉庫、屋 内 屋 外	○	○	○	○	鉄+保温温 (厚さ50mm)+外装材	○	—	
排気ダクト	円形	屋内露出(一般居室、廊下)	○	○						

別表-3
工事区分表

工 事 内 容		施 工 区 分			
		建築	電気	機械	
開口部	はり、床、壁貫通部	鉄筋補強	○	・	・
		スリーブ、型枠	・	○	○
	環込形（分電盤、端子盤、プルボックス）、風道	鉄筋補強	○	・	・
	環込形消火栓ボックス、吹出口、吸込口、換気扇、大便器等	スリーブ、型枠	・	○	○
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切込み	補強とも	○	・	・
基礎		補強のない場合	・	○	○
	スリーブ穴埋め、型枠穴埋め		○	○	○
	鉄骨、PC板等への穴開け、補強、スリーブ入れ（工増加工）		○	・	・
	屋内	躯体と一体のもの	・	○	○
		上記以外	・	○	○
堤	屋外	鉄筋基礎	・	○	○
		無筋基礎	・	・	・
	屋上	躯体と一体のもの	○	・	・
		上記以外	・	○	○
	高架水槽、クーリングタワー、消火栓補給水槽		・	○	○
点検口	架台、アンカーボルト		・	・	・
			・	・	・
			○	・	・
			・	・	・
	配線ビッド、トレンチビッド		○	・	・
配管			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
配線	機器付属の制御盤（接地とも）	一次側	・	○	・
		二次側	○	○	○
		電源供給	・	○	・
	制御盤と動力盤の間（接地とも）	操作 配管	・	・	・
		回路 配線（ ）	・	・	・
防油堤		電源供給	・	○	・
		操作 配管	・	・	・
		回路 配線（ ）	・	・	・
	天井吊り形FCU及び全熱交換形換気扇（接地とも）		・	・	・
			・	・	・
燃気扇枠	燃気扇から運動制御盤を経て防火ダンパーに至る配管配線		・	・	・
			○	○	○
	インサート、吊りボルト		○	○	○
	燃気扇枠		・	・	・
	外部取り付け方ダリ（ダクト、チャンバー（接続用フランジを含む）		○	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・

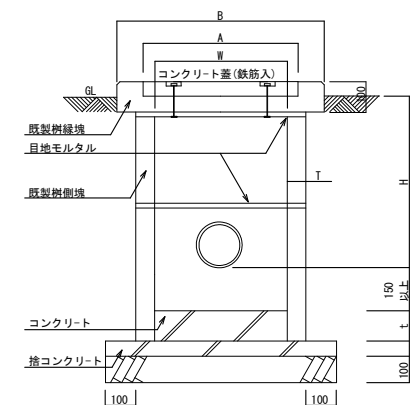
インポート機 施工要領図 S-1 ・ S-2



深さ 寸法	H=600以下	H=600超
	S-1	S-2
W	450×450	600×600
T	45	50
t	100	120
A	700	850

1. 蓋は鉄製防臭蓋とする。
(鎖付き、汚水マーク入り)
2. 既製樹側溝、縁境は、すべて鉄筋入りとする。
3. 既製樹側溝、縁境は、ズレを防止する造とする。

上め樹 施工要領図 R-1 ・ R-2



寸法	深さ	H=600以下	H=600超
		R-1	R-2
W		450×450	600×600
A		520×520	670×670
B		650×650	800×800
T		45	50
t		100	120

1. コンクリート蓋は、既製樹用とし、鉄筋入とする。
2. 既製樹側塊、縁塊は、すべて鉄筋入りとする。
3. 铸铁蓋を使用する場合は汚水樹に準ずる。

別表-1

機 材 等	

冷媒配管支持要領

土間下配管詳細図

土間鉄筋に結束のごと

土間地下中配管は、9φ鉄筋（タールエポキシ塗り）にて、U字型支持のごと。

支持間隔は、仕様による。

土間鉄筋に結束のごと

吊りバンド、棒鋼はステンレス製とする。

棒鋼を土間鉄筋に結束する場合は、直接、接しないよう電蝕防止策を施すこと。

支持間隔は、仕様による。

インサート金物
土間コンクリート中間位置程度

吊りバンド、棒鋼はステンレス製とする。

棒鋼を土間鉄筋に仮止めする場合は、直接、接しないよう電蝕防止策を施すこと。

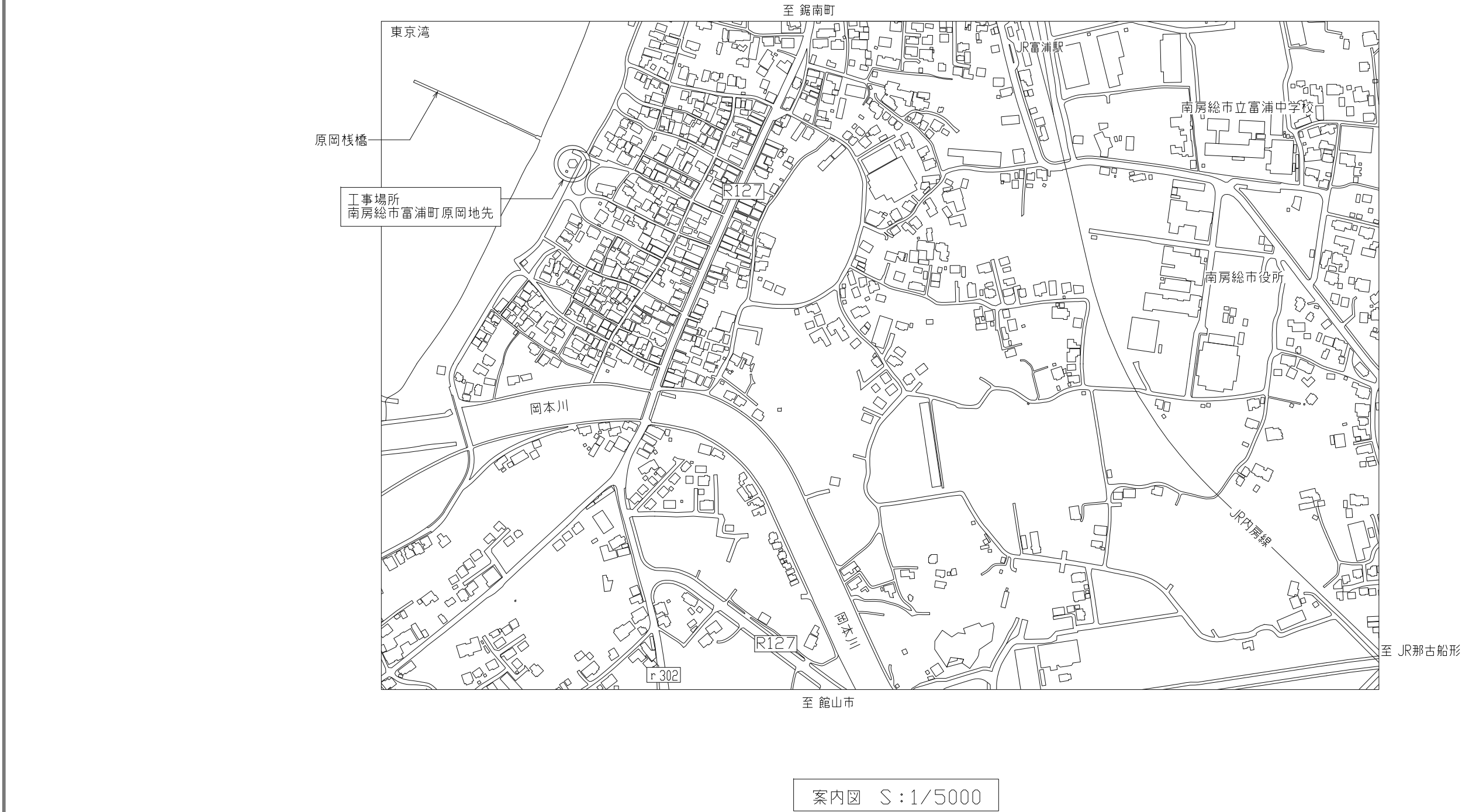
支持間隔は、仕様による。

樹蓋仕様		樹蓋仕様				
名称	記号	実内径	受 枠	安全荷重	備 考	
防臭中耐蓋	MHA-45	450φ	560	1500kg以上		
防臭中耐蓋	MHA-60	600φ	710	1500kg以上		
防臭重耐蓋	MHD-45	450φ	560	5000kg以上		
防臭重耐蓋	MHD-60	600φ	710	5000kg以上		

樹標準構成表		樹 境				
H	H	側 境				既製 縁境
		150H	300H	450H	600H	
450	250 ~ 400			1	1	1
450	400 ~ 550	1			1	1
450	560 ~ 700		1		1	1
450	710 ~ 850			1	1	1
600	530 ~ 680		1		1	1
600	690 ~ 830	1	1		1	1
600	840 ~ 980				2	1
600	990 ~ 1130	1			2	1
600	1140 ~ 1280		1		2	1
600	1290 ~ 1430	1	1		2	1

シンクリート蓋は、既製樹用とし、鉄筋とする。
 既製樹側境、縁境は、すべて鉄筋入りとする。
 設置を使用する場合は汚水樹に準ずる。

工事名	原岡棧橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号 FAX 0470-47-5540	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名		図面NO M-03
備考				間宮	間宮	佐久間	機械設備工事特記仕様書-3		
					R8.8.20		縮尺		



工事名	原岡栈橋トイレ改修工事	間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540 千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号	一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名		案内図	図面NO M-04
				間宮	間宮	佐久間				
備考					R8.8.20		縮尺 1/5000			

撤去			改修		
(注記) - 屋外のシャワー施設、水栓柱は撤去する。 (屋外給水配管も撤去とする。) - 地下便槽は着工前に発注者が汲み取りを行う。 平面図 S=1/100			(注記) - 屋外給水配管の撤去後、プラグ止め等にて処理する。 - 便器改修側の地下便槽は高圧洗浄および消毒処理をする。 - 地下便槽スラブの復旧は建築工事とする。 平面図 S=1/100		
工事名 原岡棧橋トイレ改修工事			管理者 間宮		
備考			設計者 間宮		
			担当者 佐久間		
			図面名 給排水設備図		
			縮尺 1/100		
			図面NO M-06		

間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地
TEL 0470-47-5520
千葉県知事登録 第 1-2209-4705 号 FAX 0470-47-5540

一級建築士 大臣登録 第208415号
間宮 幸男

管理
間宮
設計
間宮
R8.9.3

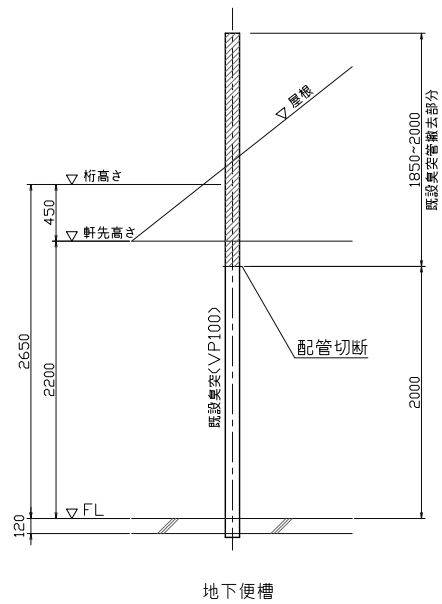
担
佐久間

図面名

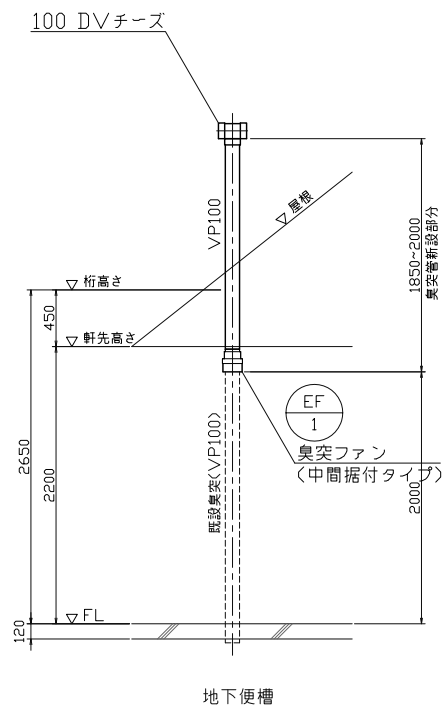
給排水設備図

縮尺 1/100

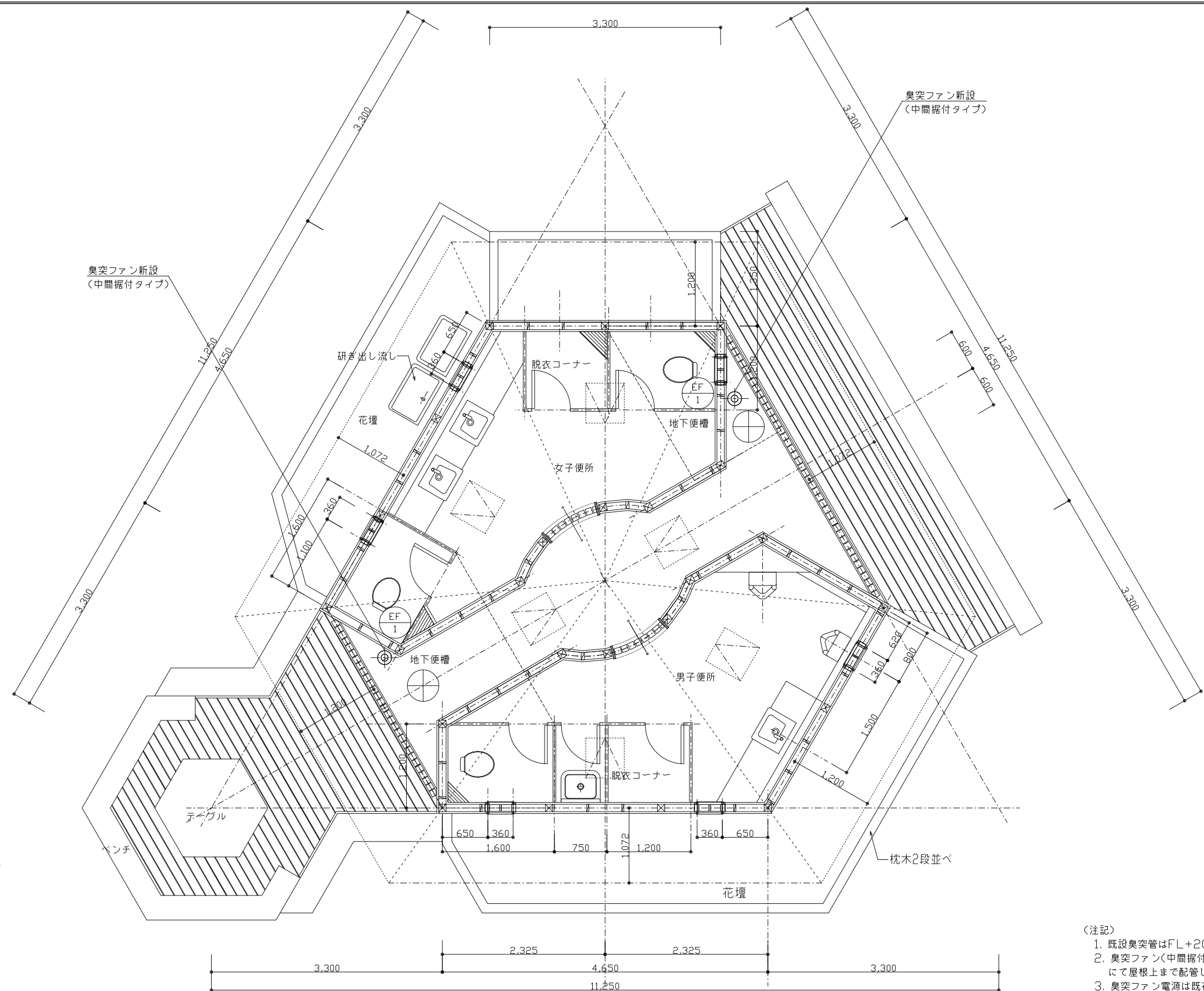
図面NO
M-06



臭突管撤去図 S=1/60



臭突管改修図 S=1/60



平面詳細図 S=1/60

- (注記)
1. 既設臭突管はFL+2000にて切断し撤去する。
 2. 臭突ファン(中間据付タイプ)を取付け、VP100にて屋根上まで配管し、端部にはDVチーズ取付。
 3. 臭突ファン電源は既存屋外コンセントよりとする。
(既設臭突FL+2200に既設コンセント有り)

工事名	原岡棧橋トイレ改修工事				間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540		管理者 一級建築士 大臣登録 第208415号 間宮 幸男	設計者 間宮	担当者 佐久間	図面名 臭突設備詳細図	図面NO M-07
備考					千葉県知事登録 第1-2209-4705号			R8.9.3		縮尺 1/60	